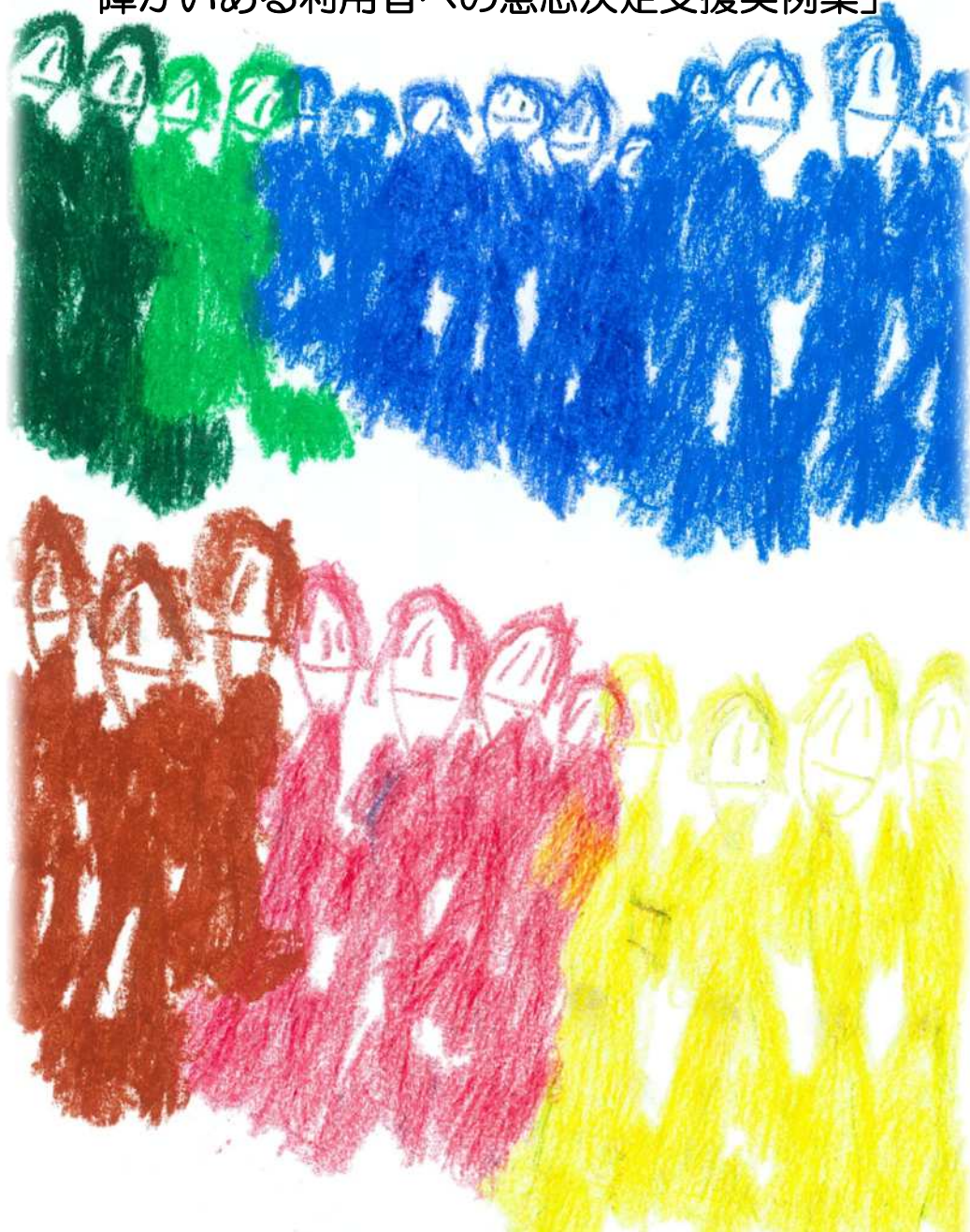


私のことはあたりまえに自分で決めたい。 手伝ってね！！ Ver. 8

「障がい者福祉施設・事業所における

障がいある利用者への意思決定支援実例集」



（「ともだち」：すばる利用者 糠沢一雄）

（2023年）令和5年3月

福島県知的障害者福祉協会

人権・倫理委員会

も く じ

あいさつ 福島県知的障害者福祉協会 会長 江尻 勝巳	・・・	P1
はじめに 人権・倫理委員会 委員長 小林 優子	・・・	P2
事例調査の概要	・・・	P3
実施された「障がいある利用者への意思決定支援事例集」用紙	・・・	P4
【 意思決定支援事例の結果 】		
カテゴリー分け要素説明	・・・	P5
I 本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例	☐A	
① 居住系	・・・	P11
② 児童系	・・・	P29
③ 就労系	・・・	P37
④ 日中活動系	・・・	P49
II 本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例	☐B	
① 居住系	・・・	P61
② 児童系	・・・	P79
③ 就労系	・・・	P86
④ 日中活動系	・・・	P95
カテゴリー分類図		
成功事例カテゴリー分類図	・・・	P106
失敗事例カテゴリー分類図	・・・	P108
人権・倫理委員会による編集後記		

あいさつ

障がい者福祉施設・事業所における障がいある利用者への意思決定支援事例集 Ver.8 の完成に際しご挨拶をさせていただきます。

まずは、この事例集の完成に尽力して下さった、人権・倫理委員会の皆様ならびに事例の提供をしてくださったスタッフの皆様にお礼を申し上げます。

さて、昨年の令和 4 年度においては、虐待防止のさらなる推進と身体拘束等の適正化の推進のため、障がい福祉サービス等事業所において以下の取り組みが義務化されています。皆さんもご存じだとは思いますが、あえて掲載させていただきます。

- ・虐待防止委員会の定期的な開催と委員会での検討結果の従業者への周知徹底
- ・従業者への定期的な虐待防止研修の実施
- ・身体拘束等の適正化のための対策を検討するための委員会の定期的な開催と委員会での検討結果の従業者への周知徹底
- ・身体拘束等の適正化のための指針の整備
- ・従業者への定期的な身体拘束等の適正化についての研修の実施

以上の 5 点となります。この 5 点の中に意思決定支援の言葉を見つけることはできませんが、虐待防止において意思決定支援は重要な効果があります。

意思決定支援は、障害者の「思い」や「考え」を形にして自ら選択することであり、それを形にするためには、十分な体験や経験（体感、知覚）が必要で、選択して決定するためには情報（比較）や理解（意味、効果）が重要です。そのために、障害者の人格・特性・育成歴を知り、どのような場面で意思決定の支援が必要なのか、意思決定出来ている場面はどこなのかを分析して理解することが大切です。障害者が意思を感じる体験や経験を積み、意思を覚知・決定できる手段・方法を取得できれば周囲（支援者・家族等）への意思の表出・理解を促すことが出来、それが虐待への未然予防・防止へと繋がるのです。

本事例集に関しては、福島県知的障害者福祉協会が取り組みを始めてから 8 年目を迎え、職員の質の向上を目的に作成されております。これまでの事例集において意思決定支援の場面が数多く蓄積され、それを基に支援を行い成功する場面もあったでしょう。しかしながら、支援を受ける方の個性は千差万別です。例のない場面や、例があっても同じ結果にならない事例もある事でしょう。でもあきらめずに支援していくこと。これは私たちの仕事であり、新たな支援方法を見つける一歩となるものです。これから先、IOT や AI など福祉の分野にも必ず入ってくるものとなります。AI に仕事を奪われるのではなく、共存できるよう、皆様もこの事例集を基に知識を蓄え、明るい未来の福祉を創っていただきたいと思います。

福島県知的障害者福祉協会
会長 江尻 勝巳

はじめに

「意思決定支援事例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね。！！～Ver.8」に、ご協力いただきありがとうございました。

コロナ感染症が、第5類になったとはいえ、皆様の業務に関しては変わりなく、業務過多の日々が続いておられることと思います。

その中、意思決定支援のカテゴリー分けとして要素を実践しつつ、健康管理を行い、皆様の努力と心遣いは、計り知れないのものと存じます。

毎日のように、施設における虐待が取り上げられている昨今、日々の取り組みに苦悩されていることでしょう。その中で利用者さんの笑顔が見られた時の喜びは、かけがえのないことと思います。皆様から、いただきました事例は、日々の悩みや、喜びの集約の代表と感じました。

さて、意思決定支援を作成するにあたり、人員不足、コロナ感染書などにより、大変難しい部分がありましたが、委員の皆様、関係者の協力により、作成することができました。

意思決定支援の原則として

- 1.自己決定の尊重と分かりやすい情報提供
 - 2.不合理と思われても他社の権利を侵害しないのであれば尊重する。
 - 3.本人の自己決定や意思確認がどうしても難しければ、関係者が集まり、意思を推定する。
- とあります。

意思決定事例集を手元に、意思決定支援の原則を基にして、職員の皆様が「意思決定支援とは何か」を議論し利用者さんに還元され、すべての皆様の笑顔が見られることに活用していただければ幸いです。

社会福祉法人 銀河
管理者 小林 優子

調査の概要

目的

県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の発行は、8年目となりました。令和2年度までは、冊子として配布してきましたが、令和3年度より、ダウンロード版として皆様にお届けしております。

この実例集は県内に留まらず各都道府県や厚生労働省および関係機関からも参考にしたいと要望が多くありました。「実践の中に真理あり」です。核施設の日常的な支援や実例の中に、「意思決定支援」の様々な要素（カテゴリー）が凝縮されていることが、6年間の実例で分析され可視化されました。

そこで、例年とおり人件・倫理委員会では、「意思決定支援の実例」を各施設からご提供いただき、その類似性や特徴及び共通点を分析した実例集を作成いたしました。

各事業所の職員一人一人が日頃の支援を振り返り、実例の作成や実践をスタッフ間で協議することにより、今まで気づけなかった「発見」や、「改善策（統一的支援等）」が見出され、それにより、日常的に意思決定支援の実践が成される人的・物理的環境がととのいます。この一連の意思決定支援のプロセスこそが虐待を未然に防ぐ支援、並びに本人主体の積極的な人権擁護につながる良い機会になることを期待します。

1 調査対象

福島県知的障害者福祉協会加盟事業所におけるサービス管理者等

2 調査方法 福島県知的障害者福祉協会 事務局よりメールにて依頼

3 依頼期間

令和4年10月28日 ～ 12月2日

4 依頼件数

114事業所

5 回答件数

45 事業所
(昨年度57事業所)

	成功例	失敗例	計	昨年度比
居住系	32	29	61	
児童系	15	14	29	
就労系	16	14	30	
日中系	18	16	34	
計	81	73	154	-27件

6 回答率

H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
37%	58%	54%	59%	56%	51%	50%	41%

7 調査項目

- 1 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例
- 2 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例

令和4年10月23日

福島県知的障害者福祉協会
会員・準会員 各位

福島県知的障害者福祉協会
会長 江尻 勝巳
(公印省略)
人権・倫理委員会
委員長 小林 優子

福島県内の全会員事業所における 「障がいある利用者への意思決定支援実例集 Ver.8」作成について(依頼)

初秋の候、会員の皆様はますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

福島県人権・倫理委員会は「福島県内の障害者施設利用者への虐待を未然に防止し、人権が擁護された支援の周知と拡充及び安心して支援できる事業所体制の向上を図ること」を目的とし発足して、11年目となりました。令和3年12月現在、当協会会員 114カ所中、109ヶ所に人権擁護委員会等が設置され、設置率 95.6%となっています。

令和4年度より、虐待防止委員会の設置が義務化され、各事業所で設置された人権擁護委員会等が職員誰もが話しやすく、討議しやすい環境にあるか、委員会の中身や質が問われます。各施設職員が障がいある利用者の方に対して、どんな時も「人権が護られた支援」を正々堂々と明るく、笑顔で出来るようにしたいものです。

さて、標記の件でございますが、平成27年度から県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の冊子を発行させて頂いておりましたが、令和3年度より冊子作成コストの都合上「本会ホームページへの掲載」となりました。

WEB掲載ではありますが、引き続き「意思決定支援の実例」を各施設からご提供頂き、Ver.8として実例集を作成いたしますので、「意思決定支援実例」の報告用紙にご記入頂き、メールにて **12月2日まで**にご送信下さい。

事務局にて集計しホームページ掲載に向け準備を進めてまいりますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

(お問い合わせ先)

福島県人権・倫理委員会 事務局 (すばる 内)
担当 小林

TEL 0243-33-1447 mail:kobayashi@g-subaru.jp

本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素（以下カテゴリー）が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、昨年の181件のデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては本協会HPに掲載しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.7」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例につきましては、成功実例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各実例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功実例同様、要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては本協会HPに掲載しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.6」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表出支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

mail: kobayashi@g-subaru.jp

施設・事業所における「意思決定支援実例」報告用紙

事業種別 _____

（送信日 令和4年 月 日）

事業所名 _____

サービス管理責任者・氏名 _____

【作成までの手順】

- ① 全職員（全職種）から意思決定支援の成功・失敗実例を各々1事例作成してもらい、サビ管に提出して頂く。
- ② 全事例の中から特徴あり、分かり易い実例を、職員会議等で2～3の実例に絞って下さい。
- ③ 選択された実例をサビ管中心にその成功・失敗のポイントに下線を引き、成功実例は別紙1（カテゴリー分け要素）の①～⑩の中からカテゴリーを選択、失敗実例は別紙2からカテゴリーを選択し、職員会議等で協議します。
- ④ 事業所内で検討された成功・失敗の実例を各2事例ずつ挙げ、最後に集計状況欄を記入していただき
人権・倫理委員会事務局に令和4年12月2日までメールでご提出下さい。

【記入上のご留意】

- ① 過去に実際行われた支援で、分かり易い成功・失敗を各2事例ご記入お願いします。
- ② Aさん、Bさんの様に、利用者・職員が特定できない様にご記入下さい。
- ③ 成功実例・失敗実例判断、及びカテゴリーの要素が強い順に3つ以内選び、その判断は貴施設にお任せ致します。
- ④ 文章の文字に制限はありません。配慮出来た・困難だったポイントは箇条書きで記入下さい。
- ⑤ 作成については実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.7」をご参照下さい。

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-1.

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・
・

事業所判断ポイントカテゴリー

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-2.

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・
・

事業所判断ポイントカテゴリー

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-1.

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・
- ・
- ・

事業所判断ポイントカテゴリー

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-2.

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・
- ・
- ・

事業所判断ポイントカテゴリー

【集計状況欄】

成功実例： 全部で_____件集まり _____件提出。

失敗実例： 全部で_____件集まり _____件提出。

【ご記入ありがとうございました。】

※ 報告用紙にご記入の上、12月2日(金)までにメールに添付して、人権・倫理委員会事務局（すばる）まで上記返信用メールアドレスへ、ご送信下さい。

※ 実例集作成にあたりましてご記入いただきました内容は、アンケートの集計のみに使用し、処理・集計の目的以外では使用いたしません。また、分析結果の公表時等において施設・事業所が特定されないよう留意致します。

意思決定支援の実例の結果

- ① 本人意思決定支援が出来た成功実例
 - ・ 居住系 P11
 - ・ 児童系 P29
 - ・ 就労系 P37
 - ・ 日中活動系 P49
- ② 本人意思決定支援が困難だった失敗実例
 - ・ 居住系 P61
 - ・ 児童系 P79
 - ・ 就労系 P86
 - ・ 日中活動系 P95
- ③ 令和4年度 カテゴリー分類図
 - ・ 成功実例 P106
 - ・ 失敗実例 P108
- ④ 5年間のカテゴリー比較図 P110

本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素（以下カテゴリー）が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、昨年の181件のデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては本協会HPに掲載しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.7」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【入所系】
番号 A01 委員会判断ポイントカテゴリー ④、⑤、⑥、⑦	
<p>Uさん 50代 兄と自宅で暮らしていた。家庭の都合で、自宅で暮らせなくなり一時的に入所施設で措置入所していた。今後の暮らしの場を決めるため、本人と面談及び関係機関で協議を重ねるが、暮らしたい場所は本人からは「どこでもいい」との言葉しか聞かれず、生活意欲もあまりない様子であった。暮らしの希望は語らないが、<u>会話を重ねる中で「一人で暮らすのは大変」「階段は目が見えづらいから嫌」など少しずつ意見を話してくれるようになっていった。</u>最終的に本人から自発的に「〇〇で暮らしたい」という明確な答えは出なかったが、<u>会話の中で出てきた言葉を尊重しながら複数の暮らしの場を体験してもらい、関係機関でその中から本人に最も合うと思われる住居（GH）を提供し、現在も暮らしている。</u></p>	
【配慮出来たポイント及び考察 等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>入所施設及びGH2か所（集合型・アパート型）を体験して生活のイメージを持ってもらった。</u> ・関係機関で情報共有し、多方面から本人及び兄へアプローチを行った。 	
事業所判断ポイントカテゴリー ⑤、⑦、④、⑥	
【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【入所系】
番号 A02 委員会判断ポイントカテゴリー ②、④、⑤、⑦、⑧	
<p>てんかん発作が見られるKさん、ヘッドガードを使用中。古くなったヘッドガードの交換が必要となっていたが、本人、購入を希望せず数年購入できずにいた。<u>折にふれ、継続して購入を促しつつ、本人が購入したくなる時を待っていたところ、家族との面会の機会があり、新しいヘッドガードの必要性を伝え購入を提案すると本人がその気になった。</u>購入にあたり本人から形や色等に要望が聞かれ、購入に<u>消極的になりそうなところを業者と調整を重ね、希望に沿うよう進めており何とか購入できること</u>となった。</p>	
【配慮出来たポイント及び考察 等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけないと決められないKさんに対して、<u>急ぐような声かけはせず、ゆっくりと時間をかけて本人に考えてもらった。</u>購入のきっかけとなる機会を逃さず支援員が対応したことで、購入する気持ちまでに至った。 ・本人に繰り返し見本を見てもらい直して欲しいところを業者に伝えた。 	
事業所判断ポイントカテゴリー ⑦、⑤、④、⑧	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A03 **委員会判断ポイントカテゴリ ⑨**

トラブルをよく起こしてしまう B さん、同ホームの入居者から苦情が多く利用者間でヒートアップしてしまうことが多くなってきた。話し合いの場（個別対応やホーム会議、本人・保護者を交え関係機関での会議）など設けてきたが、反省することが難しい B さんは、部屋で過ごしてもらう時間（他者との距離をおき、刺激の少ない生活）が多くなってしまった。B さんの意思は一旦おいた支援となってしまう。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・優先順位の見立てが難しい。B さんの人との関りをゼロにしないよう支援してきたが、その事がかえって逆効果になってしまったのかは未だに不明である。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑨

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A04 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、③、⑧**

・在宅での生活しており、コロナ禍の中でグループホームでの生活が始まった。A さんもグループでの生活に慣れようとしていたが、その中でストレスが溜まっていたことに気付く事が出来なかった。A さんの中でストレス発散方法が「物を壊すこと」になっていた為他の方法を A さんも交えて話し合いを行った。コロナ禍ではあったが、感染対策を行い外出の機会を設けいろいろなストレス発散グッズを見てもらい A さんからも「これならやってみたい」との反応もありホームに抱き枕やダーツを設置し毎回ストレス発散に使用している様子が窺えた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・コロナ禍でもいち早くストレスに気付き事が出来た。
- ・世話人勉強会や支援員会議を通して議題として上がる事ができた。

事業所判断ポイントカテゴリ ③、⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A05 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、⑦**

・Oさんは、グループホームでの生活の中で少しずつ、「次は何をすれば良いか」がわからなくなっており主治医からも「認知症の傾向がある」との診断を受けている。

夕食を拒むことも時折見られ、本人からも「食べない」との言葉が聞かれている。支援者が本人の表情を見ながら、否定しないような声かけをすることで食事を拒むことなくスムーズに摂取する事が出来ていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・支援者の言葉（声かけ）の方法を変更した。

事業所判断ポイントカテゴリー ②

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A06 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、④、⑦**

・20代女性、知的障害者。特定の人以外とコミュニケーションを取ることができない。「はい」か「いいえ」でこたえられる質問や筆答を行っていたが、なかなか自分の気持ちを伝えられず、気持ちをため込んでしまい、泣いてしまうことがあった。本人は携帯電話やタブレットを使う強みがあるので、メールや電話などでコミュニケーションを取るようにすると自分から気持ちや困ったことなど伝えてくれるようになった。生活に慣れてきて、世話人さんに言葉でコミュニケーションを取ることができている。筆答でも答えることができています。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・とっさに聞かなくてはいけないことがあるときは「はい」や「いいえ」で答えられる質問をするようにする。
- ・メールなどでもわかりやすいように気を付けている。

事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、④

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A07 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑧**

コロナ禍により利用者が買い物に行くことは出来ない時期が続いている。希望を聞いたり希望リストを書いてもらい、希望する物を購入することができた。その他、代行での飲み物の購入時、聞き取りや、携帯で写真を取り、表示して選択してもらった。また、漫画本が欲しい利用者に対し、買い物で購入していたが、発売日後に購入日程が合わず、買えなかった為残念がっていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・利用者本人にメモ用紙に記入してもらった。
- ・飲みたい物を聞いて購入した。字が読めなくても写真を見て選ぶことができた。
- ・漫画本の方に対しては、定期購読で配達してもらうことにより、満足が得られた。

事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、③

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A08 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑧**

時計を読める利用者居室に時計を設置し、スケジュールを組んだ。以前、水分の要求が強く思い通りにならないと、自傷や他害が見られた。水分提供の時間を決めると、その時間に水分の要求が出るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人に分かり易い時間と、今まで要求が多かった時間に水分提供に時間を設けた。
- ・今までは、「まだだよ」「さっき飲んだばかり」と本人に分かりずらかったが、時間の提示によって本院の不安を軽減できた。

事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、③

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】**【入所系】**番号 A09 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、⑦、⑧**

以前は当施設を生活介護及び短期入所サービスを利用していた Y さん。施設内での食事は、白いご飯にゆかりをかけたご飯のみ。声掛けすると「食べない。」と言う。度重なる声掛けは、自傷に繋がる為、また、自宅に帰れば好きな物を食べただけ食べているようなので、本人の意向に任せていた。短期入所を月またぎで長期に利用した際に、ふらつきが見られ、利用を中断し受診したところ、栄養の偏りにより体調を壊し点滴を受ける程であった。それ以降の対応として、食事の際、提供した副食等を少しでも食べて欲しい旨を、利用の度に毎食伝えたところ、少しずつ食べる様になり、現在は入所となっているが、食事に関してはゆかりを使わずとも、食べるようになりほぼ全量食べる事が出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人には、負担ない様に時間を掛けて伝えた。
- ・食べない物を排除するのでは無く、本人の意思を尊重しながら、本人に合わせて選択肢を持って頂きながら関わりを持った。

事業所判断ポイントカテゴリ

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A10 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、⑤、⑥、⑦**

Rさん（29歳）、障害支援区分5、自閉的傾向、言葉によるコミュニケーションが難しい

Rさんは療育者不在の家庭的な事情から、令和3年5月より令和4年7月に施設入所となるまで、当施設のショートステイを長期利用していた。ショートステイ利用期間中は専用の居室を使用しており、入所に伴って入所者の居室へ移動してもらうこととなったが、ショートステイ専用居室に固執し、新しい居室で過ごすことができずにいた。そこで、Rさんがご家庭やショートステイ利用時にどのように過ごしていたか再アセスメントした結果、ショートステイの居室にはテレビがあり、Rさんはそのテレビのチャンネルを変えることに拘る行為が見られていたことと、ご家庭でもテレビへの執着が強く見られていたことが確認された。そのため、試しにショートステイの居室のテレビをRさんの新しい居室に設置したところ、設置した直後はショートステイの居室やテレビが置いてある他のお客様の居室を気にする様子も見られたが、徐々に新しい居室で過ごす時間が増えていった。テレビが居室にあると穏やかに過ごす様子が見られたため、Rさん専用のテレビを購入して居室に設置し、その後はショートステイの居室に固執する様子がなくなると同時に、自分の居室で布団に横になってテレビを観ながら過ごすことで満足している様子が見られるようになった。

【配慮できたポイント及び考察 等】

- ・本人の行動及びアセスメントから意思のくみ取りを行い、実践によって本人の行動の変化を確認し、意思決定の確認ができた（居室にテレビが欲しいという意思）。
- ・本人用のテレビを購入し、居室に配置した。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、⑤、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A11 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑤、⑥、⑦****(Jさん 女性 54歳 障害支援区分6 認知症の診断あり)**

Jさんは、就床時間になっても居室へ戻ることを頑なに嫌がるようになり、椅子に座ったまま眠ってしまう様子が見られ始めた。また、その頃からせん妄のような症状も現れ、1人で怒鳴り散らすようなこともあった。Jさんの生活状況について観察したところ、就床時に同室のSさんより掛け布団や毛布を剥がされたり、室内で騒ぎ立てられる等して、睡眠を妨げられていることが分かった。職員がSさんに止めていただくよう声掛け等を行ってきたが行動は治まらず、寝不足による精神不安、体調不良や怪我等に繋がる危険性も懸念されたため、試しにJさんが普段から仲良く話しているYさんと同室になるのはどうか提案すると、両者の了承を得られたため居室変更を実施し経過観察を行った。その後、Jさんが居室へ戻ることを嫌がることは無くなり、せん妄のような症状も消失した。現在は眠くなった場合には自ら居室へと戻り就床する等、朝まで安眠することが出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Jさんは要望や訴えを口頭で発信することは少なく、居室に戻りたがらないといった行動はJさんの、Sさんとの居室が嫌だという意味表示だったと考えられ、自分の気持ちを上手く言葉に出来ないために、本人の不満やストレスが行動やせん妄のような症状となって表出していたと考察できる。
- ・Jさんの発信している意志を汲み取り、周囲の理解を得て安眠できる環境を提案し本人の決定を得ることで、生活リズムの安定やストレスの軽減に繋がった。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑤、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A12 **委員会判断ポイントカテゴリー ③、⑥、⑨**

利用者Sさんは、自らタブレットを使用してインターネットをし、その中で欲しい物を見つけ、職員に購入の相談をして来ます。購入に向けては、本人と家族とで話し合いを行い、毎日行っている1日のスケジュールの達成度を「目標」としました。その過程で、カレンダーにシールを貼って達成度が目に見えるようにしてみました。その結果、目標に向かってスケジュールを頑張ってこなす事が出来て、欲しい物を購入する事が出来ました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・明確な「目標」を立てる。
- ・達成数をシールで見える化した事で、利用者本人も「目標」の進捗状況を知る事が出来た。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑨

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A13 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、④、⑤**

Wさんは、日課通りに活動を行っていたが、時間にルーズな面があった。本人の好きなキャラクターを使用死すスケジュール表を作成し、スケジュールを終える事に貼ってあるシールを剥がして頂くようにした。更に、月曜日から金曜日にスケジュールに沿って過ごす行えた際、土曜と日曜の買物時に好きなお菓子を1個のところ2個購入出来るよう本人と相談して決めたところ、意欲があがり、時間通りに行動出来るようになってきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】本人の好きなキャラクターを活用した。お菓子が好きで、多く購入出来ることが動機付けとなった。

事業所判断ポイントカテゴリー ④、⑤

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A14 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑥**

文字や絵を書くことが好きなAさん。普段から支援員にお絵かきボードに文字を書いて支援員に見せに来ていた。その内容は、日付やテレビ局名など様々である。ある日、お絵かきボードにテレビのリモコンの絵を書いて見せてきたが、普段書かない絵だったため居室へ行きリモコンを確認すると、電池が切れていたためチャンネルを変えることができなかった。電池交換すると、Aさんの笑顔が見られた。

【
配慮出来たポイント及び考察 等】
・ 普段と違った内容に気づくことができた。
・ 常に本人が持ち歩けるボードを使用した。

事業所判断ポイントカテゴリー ①、③、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A15 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、⑦、⑧**

散髪の際、事前にどのような髪型にするかを、実際に切った人を参考に、雑誌などを見て貰うことで本人が決めて、理容師さんに本人から伝えることが出来た。

【

配慮出来たポイント及び考察 等】

・ご本人は、最初はあまり髪型に対して好みをおっしゃる方ではなく、話すこと自体もなかなか進んでされない様子でした。テレビや雑誌を見るなかで、「〇〇（芸能人）のような髪型に出来ないか」と徐々に自分から伝える事が出来ていた。その延長線上で、職員以外の第三者に自分から要望を伝えられるように自信を持つことが出来るようになった。

事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A16 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑦**

外出時、行きたい場所(方面)店を A さんに聞きながら選択し、買い物をしに出掛けることが出来た。何をおやつに食べたいかは、答えられなかったので、普段食べることが難しい、ソフトクリームパフェはどうかと提案し、同意を得て購入時の参考にしている。買い物も本人選択で実施出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・ご本人の意思決定を尊重し、支援を行い本人が自分で意思決定が困難な所では、支援員から提示を行い補うことで、本人が楽しく外出を過ごせるように配慮している。本人が普段食べられない物を食べることで、新しい「選択肢」の提供に努め、ご本人もそれに満足している事例である。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A17 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、③、⑦、⑧**

Kさんは、起床時間になっても起きづらい様子があり、時間をかけて起床後に食堂へ向かうものの食堂へは入らず、玄関に行って暗い表情でうつむいて立っていた。そこで、傍へ行き、「食堂でご飯を食べましょう」と声かけを行うが、無反応であった。

以前落ち着かない時に自分の居室でご飯を食べることを選択したことがあったため、「お部屋でご飯を食べますか？」と尋ねたところ、Kさんがうなずいたため、ご飯を居室へ運び、食事を取って頂くことができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Kさんの表情や行動の変化を観察し、人のいる場所での食事を嫌がっている気持ちを想像して意思を確認することができた。
- ・以前の体験を基にして選択肢を提供することができた。
- ・食事を取る場所を固定化せず、気持ちに寄り添って柔軟に対応することができた。

事業所判断ポイントカテゴリ ②、③、⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A18 **委員会判断ポイントカテゴリ ①、②、④、⑥**

普段から「紙」に興味を示すYさん。チラシを指でつまむ事や、他の利用者さんが雑誌を見ていると側に寄り、覗き込む事もある。ある時共有の雑誌を見ている時、特定のページで捲る事を止める事に気付いた。ページの内容は食品と服が載っているページ。強い興味を持っている様子であった為、その雑誌を渡す時には同様のページを開いた状態にする事で、あまり笑顔を見せないYさんの笑顔を見る事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・「紙」に興味を示していたのではなく、Yさんの視線や表情、動きを観察していた事で紙の中の内容に興味を示していた事に気付く事が出来た。
- ・食品や服に興味を示している事に気付く事が出来た為、今後そういった情報が記載されている本を渡す事で、そこから自身で選択をする事に繋がる可能性を感じた。

事業所判断ポイントカテゴリ ①、②、④

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A19 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥**

Kさんはテレビが好きで毎日鑑賞している。ある日、テレビを観ながら会話をしていた際、この番組で出ている物が欲しいとの話が聞かれた。担当職員自身、その希望している物について詳しくなかった為、他の職員へ相談をし、販売場所等助言をもらった。Kさんに売っている可能性がある場所について伝えると、そこへ行き、実物を見てみたいとの話が聞かれた。これを受け、買物やドライブが好きなKさんの要望に応える為、日程を調整し外出の機会を提供。当日までの間に、何を買いたいのか、食事は何が良いのか聞き取り、プランを作成。当日はプランに沿いながら、実物を確認しながら買物を行い、納得のいく買い物が出来たと笑顔が見られていた。購入をしてから一年以上経過しているが、自身で選んだ物である事から現在も大事に使用する様子が見られている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・欲しい物について否定をせず傾聴した。
- ・本人からの意思を受け、門外漢の物品であったが希望実現の為、他の職員へしっかりと相談を行った。
- ・職員がそれを買いに行き与えるのではなく、本人と一緒に話し話しながら、テレビの映像では無く実物を見て触る事で、映像とのギャップを埋める事で納得の行く買い物を行う事が出来た。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A20 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、⑤、⑥、⑧**

簡単な単語での会話が可能でAさん。衣類購入の際に何色が良いか尋ねると「あか」と答える。通常の会話でも「あか」「あお」と言うが、他の色を聞いたことがない。赤を含め10種類の色を印刷し提示すると「ピンク」と「紫」を示した。「赤」を指差し「これはどうですか？」と尋ねると「いない」と返答あり。

ピンクの衣類を購入するととても喜んで頂けた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・担当職員が色見本を提示し、見てもらい選んでもらえた
- ・「あか」をどの様な赤系統なのか疑問を持ち対応できた

事業所判断ポイントカテゴリー ①、⑧、⑤

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A21 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、⑤、⑥**

料理教室に参加した B さん。2 つの工程がありどちらをやってもらうか自分で決めて頂いていたが イメージがつかない様子だったので、職員が実際にやって見せることで決めることができた。 別日には クッキー生地の型抜きを行ったが途中で拒否あり。他者が行っている生地をこねる作業を依頼すると気分転換ができて、その流れで生地を型抜きまで行えた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉だけでなく職員が実際に行いイメージしてもらえた。
- ・違う種類の作業をお願いすることで気分転換し興味を示してもらえた。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑤、②

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A22 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、③、⑤、⑥、⑦**

「買い物に行きたい」という A さん。以前は外出が苦手だったが、今年度は買い物に行けるよう他利用者 4～5 名のグループで買い物に行けるよう計画をした。本人から楽しみにしているような言葉も聞かれるが、出発直前になると「行かぬー」と言い、嫌がる。何度か声をかけるが、他利用者を待たせてしまうため、不参加で代理での買い物で対応することが何か月も続いた。通常だとグループでの買物を実施しているが、A さんの気持ちや動きに臨機応変に対応できるよう、担当職員と本人でのマンツーマンでの買物を実施してみたところ、「行きたい」と楽しみにしている気持ちが冷めてしまう前に対応でき、買い物に行くことが出来た。 後日グループでの買物に参加できたが、表情が乏しくあまり楽しくなさそうな様子。 本人に職員と二人での買物か、他利用者を含めたグループでの買物 どちらが いいか聞くと「2人」と話す。 次回からは 2 人の買物を計画する予定である。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の特性に配慮して、すぐに対応できるようにした
- ・2 人とグループでの買物どちらも経験してもらった。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑤、⑥、③

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A23 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、④、⑥、⑦**

入浴の声掛けを何度かするも、目を閉じまったく返事をしない利用者さん。「明日入りましょうか？」と声をかけると「はい」と返事をし目を開ける。本人の意思が確認できたので無理強いせず、次の日に声掛けで入浴することが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 本人の気持ちが聞けるような声掛けをした。
- ・

事業所判断ポイントカテゴリ ④、⑥、②

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A24 **委員会判断ポイントカテゴリ ④、⑥、⑧**

女子実習生に対し行き過ぎた行動を取ってしまうNさん。手紙を書くことが趣味で実習生宛に何通も手紙を渡し、その都度返事を催促していた。また、無断で写真を撮る、執拗にサインを求めるなどの行為もあり、実習生より「辛い」と思いを打ち明けられることもあった。

実習生への関わり方についていくつか決まりを設けた。①手紙を渡すのは最終日。職員付き添いのもと、自ら手渡す。②無断での写真撮影はしない。写真を撮りたい際には職員に相談し、職員より実習生に伝える。③サインは職員より依頼し、実習最終日に手紙と交換という形で受け渡しを行う。サインが手紙の返事とする。これらの事を分かりやすく視覚化し、いつでも確認出来る場所に貼り、職員からも声掛け等を繰り返し行ってきたことでNさんの行動も変わり、決まり事の内容を意識するようになった。また、実習生に対する執拗な関わりも見られなくなった。今では、実習最終日を楽しみに手紙を書き留める姿が見られている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 関わりを遮断するのではなく、関わり方を見直すことで本人の思いを尊重することができたとともに、行き過ぎた行動の軽減にも繋がった。
- ・ 決まり事を視覚化し、いつでも確認出来るようにしたこと意識付けをすることが出来た。

事業所判断ポイントカテゴリ ④、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A25 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、③、⑤、⑥**

・入所5年目のAさんは現在、自分でできる事が増えるように支援をしている。入浴の着替えは職員が一つずつ伝えることで脱衣かごに入れることができるようになった。最近の入浴後、洗濯乾燥してある自分の衣類を見て指さしをし、声を出す様子が見られていた。「持っていきたい」との訴えに思われたので、試しに「衣類をまとめて渡しましょう」と本人に伝え様子を見た。Aさんは一つずつ間違うことなく自分のタンスにしまうことができた。その日から毎日、入浴後に洗濯乾燥した自分の服をタンスにしまうことが日課になり、意欲的に取り組んでいる。

【配慮出来たポイント及び考察等】

本人の意欲的な意思を見逃さず挑戦してもらったことで、できることが増え自信にも繋がった。

事業所判断ポイントカテゴリ ③、⑤

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A26 **委員会判断ポイントカテゴリ ①、②、③、④、⑦、⑧**

・Bさんは職員に向かって時々大きな声を出すことがあり、それは不穏の時もあるが職員に何かをしてほしいアピールのような時もある。その為Bさんに「何かをしてほしい時は職員にトントン(肩をたたき)してお願いしましょう」と、Bさんの声出しのある時に繰り返し伝えた。また、トントンされた(頼まれた)職員は都度【絵カード】を本人へ提示し、それを選択してもらうことで意思が読み取れるようにした。現在はBさんの要求のパターンもわかるようになり、終わったら【絵カード】を職員へ渡す事で「終わり」の意思表示もできるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察等】

職員に何かを求める「お願い」のジェスチャーの習得により、Bさん自身で意思表示ができ職員も本人の要求にスムーズに対応できるようになった。

事業所判断ポイントカテゴリ ①、③、④、⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A27 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑤、⑦**

〇様（男性・知的障害・支援区分6）

日中活動として塗り絵を提供し、〇様も集中して楽しみなら取り組んでいた。塗り絵のイラストは本人から要求のあるもの（シンカリオン、ウルトラマン、戦隊もの等）をデータ化しフォルダー作成し、職員間で周知し活動以外でも要求があった際に提供していた。ここ数ヶ月は穏やかに取り組む姿が見られたが、最近になると塗り絵の要求が頻回になり、1日に何十枚も提供する日もあり、要求が通らないと物を投げたり、他者を突き飛ばそうとする行為が見られる様になってきた。待つ事が出来ない事、要求が通らない事からの苛立ちから、そのような行為に繋がったと思われ、精神科医師より本人の精神年齢は4歳程度とあり、関わりを多く持って接することとのアドバイスを受け、本人の気持ちに寄り添う為、多く関わりを持つ事と同時に塗り絵提供のタイミングを見直し、提供する枚数と時間のイラストを記載した資料を作成し視覚的情報として構造化を図り、以前と比べ要求は減ってきている。職員も関わりを持つ中で本物の時計を使用し塗り絵を提供する時間を伝え、〇様へは渡した資料を見てもらい分かりやすく伝える事で多少ではあるが塗り絵が貰える時間の理解と時間を学ぶ楽しみを感じている様にも思える。

【配慮できたポイント及び考察 等】

- ・視覚的情報として構造化を図ったことで本人への理解を求め、ツールの使用により、より分かりやすく伝える事が出来た。
- ・統一した支援によりムラがなくなり、職員、〇様との関係性も良好になってきている。

・ **事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A28 **委員会判断ポイントカテゴリ ②、④、⑥、⑦**

M様（女性・知的障害・支援区分4）

今年の3月に入所した。会話は出来るが意思表示が苦手なため、職員や同じ棟で生活する方に自分からやりたいことや思っていることを話せず、最期には泣き出してしまったため、本人の気持ちにすぐに気づいて対応することが難しい状況だった。感情をため込む前に職員が声を掛けることで対応できていたが、比例して自分から意思表示をすることが少なくなってしまった。職員の近くまで来ることは出来るが、声を掛けてもらうことを待っていることがほとんどだった。職員から「自分の思っていることは自分から話さないと相手には伝わらない。」ということの説明をした。また職員に近づいてきたときには、自分から話すまで待つことと、言葉に詰まった時だけ最小限の助言をすることを職員間で統一して対応を図った。現在は少しずつではあるが、職員が促さなくても気持ちを伝えられるようになった。

【配慮できたポイント及び考察 等】

- ・本人の意思表出を目的としていることを職員間で共有、統一した支援を行った。

・ **事業所判断ポイントカテゴリ ②、④、⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A29 **委員会判断ポイントカテゴリ ①、⑥**

自分の思いを職員に伝えられない方や意思の表出が乏しい方に対して行動観察シートを用いて行動や拘りの傾向を把握し意思を汲み取る支援を行った。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・不穏行動の軽減を図ることができた。
- ・お客様間のトラブルを防ぐことができた。

事業所判断ポイントカテゴリ ①

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A30 **委員会判断ポイントカテゴリ ①、③、⑦、⑧**

お菓子の購入を行う際、選びたいものを言葉にして伝えられない方に対してお菓子が描かれている絵などを見てもらい、言葉で伝える以外の方法で聴き取りを行った。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 選びたい物を視覚化することにより、分かりやすくなり選びやすくなった。
- ・ 指差しなどの方法で意思確認をしやすくした。

事業所判断ポイントカテゴリ ③、⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A31 **委員会判断ポイントカテゴリ ⑤、⑥、⑧**

利用者 K さんは歩行器を使用している。夜間トイレに頻繁に通い、身体状況により下衣の上げ下げに時間を要している。その為、居室にポータブルトイレを置き、使ってみてはどうか話をしたところ、使ってみるとの返答が聞かれた。その後、夜間にトイレへ頻繁に通うことはなくなり、安眠に繋がった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ トイレの不安が和らぎ、夜間は安眠することができ、精神の安定に繋がられた。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑤、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【入所系】

番号 A32 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、⑥、⑦、⑧**

コロナ禍の楽しみとして、コンビニからおやつを注文し食べる時間を定期的に提供している。おやつを発注する際、どんなおやつが食べたいか、どういった種類のものが良いかなどの意見を伺い注文に反映している。実際にメニュー表（写真付き）を見てもらいながら企画しているが、障害的に理解するのが難しいAさん。普段の好みから「甘いもの」「食べやすいもの」「洋菓子」などを絞って、2種類のお菓子里ピックアップし意見を伺った。最初の1種類目のお菓子の説明には特に反応がなかったAさん。2種類目のお菓子を説明していると目線と表情に若干の反応があったため「こちらを注文し食べましょうか」と言葉をかけ注文した。実際におやつが届き
食べる時間になった際、若干ではあるが表情がほころび、普段よりも速いペースで完食する姿が見られていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Aさんの少しの反応から意思をくみ取れたこと。
- ・何種類もの中からではなく、普段の様子から好みそうなもの2種類に絞って選択してもらったことでAさんも理解や意思表示がしやすかったこと。

事業所判断ポイントカテゴリー

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【児童系】

番号 A33 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑤、⑦、⑧****(Sさん 男性 14歳 重度知的障がい 会話は可能であるがオウム返しも多い)**

・ゲームやDVDが欲しいと希望があるが何が良いのかは「ウルトラマン」などのみで具体的に知らせる事ができず、本人もモヤモヤした様子であった。よく話をするとどのようなゲーム、DVDがあるのか分からない様子であった。一緒にインターネットを活用し、画像でどのような種類があるのか確認していただき、「どれが良いですか」等話をしながら自分で本当に欲しいと思う物を選ぶ事ができた。実際に購入し手元に届くと大変喜ばれ、その後、欲しいと思った時に職員に伝え、自分で選び欲しい物を購入するという意識を持つことができるようになった。

【配慮できたポイント及び考察 等】

- ・会話の中で具体的に何が欲しいのか分からないという事を感じ取ることができた。
- ・インターネットを活用する事でたくさんの選択肢を提示することができ選ぶことができた。
- ・一緒にパソコンを操作したり、会話をしながら選ぶ事で本人の識名物を知ることができた。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑤、⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A34 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑦	
<p data-bbox="225 439 927 472">(Hさん 男性 16歳 重度知的障がい 強度行動障害)</p> <p data-bbox="225 488 1366 808">・日常的に「ママに会いたい」と繰り返し泣き大声を上げたり、イライラし暴力を振るうなどしているHさん。会って何をしたいのか等、<u>具体的に話を聴くと「Lチキと1本満足バーと僕のスマホ持ってきて」と食べ物や物を買って欲しい、持ってきて欲しいということが分かった。</u>その後、欲しい物を職員が代理購入をする事で満足された。また、本人は文字を書くことが好きな為、<u>欲しい物を家族に手紙として書いてはどうか伝えると集中し書き、本人が書いた物を家族へ送付した。</u>(ご家族には事前に様子等を含め電話で伝えた。)結果、家族からも郵送で欲しい物、返事の手紙が届き大変満足されていた。</p> <p data-bbox="225 869 707 902">【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p data-bbox="225 918 1366 999">・「ママに会いたい」という言葉に捕らわれず、掘り下げて会話をすることで伝えたい事を職員が理解することができた。</p> <p data-bbox="225 1059 876 1093">事業所判断ポイントカテゴリー ②、③</p>	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A35 委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑥、⑦	
<p data-bbox="225 1305 1366 1480">遊びの切り替えが苦手なAくん。降園前の短い時間であると満足出来ずにいつも以上に切り替えができない。<u>事前に時計に矢印をつけ降園時間を視覚的に知らせ、併せて言葉を添えながらタイマーで終了時間を知らせた。</u>5分前に終わりの時間を予告することで、タイマーが鳴るとスムーズに切り替え降園準備をすることができた。</p> <p data-bbox="225 1496 707 1529">【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p data-bbox="225 1545 1099 1626">・終了時間を視覚的に提示することで、見通しを持つことができた。 ・事前に予告したことで、切り替えする時間が持てた。</p> <p data-bbox="225 1686 952 1720">事業所判断ポイントカテゴリー ①、③、⑥</p>	

<p>【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】</p>	<p>【児童系】</p>
<p>番号 A36 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑤、⑥、⑦、⑧</p>	
<p>慣れた場所であっても環境が変わると取り組めないことがあるBくん。経験のない活動であると、尚更拒否になり取り組めない。いつも活動している中庭でプールを行うため、<u>写真を見せ活動内容を知らせプールに誘った</u>。中庭までは移動できたが、いつもと活動設定が違うため拒否になった。<u>部屋のテラスに、B君が好きな玩具を入れた小さな桶を準備した</u>。他児が遊び始めると興味を示し水遊びを行うことができた。中庭でのプール遊びの見学や、テラスの水遊びを<u>繰り返す</u>ことで中庭でのプール遊びを行うことが出来るようになった。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拒否した気持ちを尊重し、活動参加を無理に誘わず、保育室のテラスを使用するなど、拒否が出にくい環境設定を考えた。 ・活動内容をイメージしやすいよう見学する場面を設けた。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー②、③、⑤、⑥、⑦</p>	
<p>【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】</p>	<p>【児童系】</p>
<p>番号 A37 委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、⑥、⑦</p>	
<p>居室の片づけが苦手な利用者さん。大切なものでも、乱雑に片づけたり、特定の場所に片づけることが難しかった。そこで片付け場所を、<u>“物の住所”</u>として利用者さん自身に決めてもらい、<u>ラベリング</u>した。すると、居室を整理整頓された環境に、自ら保つことが出来るようになった。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「片付け」る物や場所を具体化したことが利用者さんが活動をイメージする手助けになったのだと思う。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー ⑩</p>	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A38 委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、④、⑥、⑦	
<p>発語が不明瞭であり記憶の保持が難しい利用者さんに対し、<u>スケッチブックでの筆談やカレンダーへの印付け</u>、<u>タイマーの使用</u>によって予定や約束を提示することによって、次の活動、予定への見通しを持つことができるようになった。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期記憶の難しい利用者さんに対して記憶保持の補助になる支援ができた。 ・本人の理解しやすいツールを取り入れたことで生活の中に強みができるようになった。 	
事業所判断ポイントカテゴリー ①、④	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A39 委員会判断ポイントカテゴリー ①、③、⑥、⑦、⑧	
<p>利用者 A さん（小6）は学校での出来事により、学校も事業所も休みがちになっていた。事業所では自分のやりたい事を職員に伝えることができず人に見られる事も苦手で、来所すると他児との関わりを避け部屋の隅やトイレに籠ってしまうことが多かった。人目を気にせず一人で過ごせる<u>スペース（部屋の隅にパーテーションを設置）</u>や<u>個室を使用してもいいと言う事を伝え続けたり、手紙を書いてハロウィンのプレゼントと一緒に渡したところ、後日返事を渡しに事業所に来てくれた。</u>また、来所時は自分から「個室をあけてもらっていいですか？」「ビーズがやりたいです」等と自分の気持ちを職員に伝えることが徐々に出来つつある。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙という手段を使う事により、お互いの気持ちを伝え合うことができ、手紙を渡すという行為を行う為事業所に入ることが出来た。 ・安心し落ち着いて過ごす場所の提供が出来た。 ・職員との関係性を築き、安心して自分の気持ちを伝えられるようになってきた。 	
事業所判断ポイントカテゴリー ①、③、⑦、⑧	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A40 委員会判断ポイントカテゴリー ⑥、⑦	
<p>予防接種などの注射が苦手な A さん。上手に受けている<u>他児の様子を見る</u>ことや、A さんが「できる！」と 思うまで職員と共に<u>待ったり</u>することで、自分で決心し、泣かずに受けることが出来た。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境構成に配慮した。(モデリング出来る他児の近くにいる。安心して待てる大人の近く。) 	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ⑥、⑦</p>	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A41 委員会判断ポイントカテゴリー ⑦、⑧	
<p>「お願いします。」とジェスチャーをする A さんに、本人の好きなお絵描きで使う<u>ペン</u>と<u>絵本</u>を見せ、どちらにするか聞くと、ペンを選び、お絵描きを行うことが出来た。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発語がない A さんに実際の物を見せて選んでいただいた。 	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ⑧</p>	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A42 委員会判断ポイントカテゴリー ②、⑥、⑦	
<p>Aさん（男児・未就学児）不安感、緊張感が強く、意思表示の苦手さが見られる児。スタッフがそばについていれば、活動に参加できるようになってきていた。言葉での表出がほぼなく、頷いたり、首を振ったりして教えてくれる。普段はスタッフのそばから離れずに活動している。他児の遊んでいる様子を見て遊ぶ中で、<u>やりたそうに視線を向ける</u> <u>様子が増えて来た</u>為、実物を提示し「あそぶ？」の問いかけに頷き、おもちゃで遊ぶ様子が増えて来た</p> <p>。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人が安心できる環境を作った ・本人の視線など様子を見て対応した。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー ②、⑦</p>	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A43 委員会判断ポイントカテゴリー ②、⑥、⑦	
<p>表出が弱く、ヘルプを出すのが苦手な未就学男児。他児から1歩引いて1人での静の遊びが多いが、スタッフが側にいると絵本や玩具を通して自分から関わることも多い。本児からの<u>表出を待つ対応</u>をしてきたが、スタッフと<u>関わりたい様子が見られた</u>ため積極的に関わり、<u>活発な遊びにも誘った</u>。次第に自発的な表出が増え、スタッフを呼ぶ声も大きくなりこちらにも伝わりやすくなった。ヘルプを出せる場面も増えてきた。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の表情や様子を見て気持ちを汲み取った。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー ②、⑦</p>	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A44 委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、⑥、⑦	
<p>重度の未就学児童で紙破きが好きな児童に対し、本人がやりたがっていた為課題にあげ、<u>タイマー</u>を利用し毎回支援したところ、切り替えが上手にできるようになった。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p>.</p> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ①、②</p>	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A45 委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑥	
<p>やる気がなかった児童に対し、<u>複数の課題を提案</u>したところ、プラバン制作を選び取り組む。自らキャラクターを選び最後まで完成させ、母や幼稚園の先生に見せると言いとても満足していた。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p>.</p> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、③</p>	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【児童系】
番号 A46 委員会判断ポイントカテゴリー ⑤、⑥、⑦	
<p>未就学Aさん・男児</p> <p>活動の部屋に入ると荷物の整理より先に好きな教材のところに行ってしまう。最初は荷物の整理を優先するように促していたが嫌がってしまい、まずは<u>本人の興味に合わせる事</u>にした。その結果、興味のある教材に取り組み満足出来たようで、その後は促しに応じて荷物の整理がスムーズに行っていた。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p>本人の気持ちに合わせる事が出来た。</p> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ⑤、⑥、⑦</p>	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】**【児童系】**番号 A47 **委員会判断ポイントカテゴリー ③、④、⑦、⑧**

小学生Bさん・男児

学校の振替休日に事業所の利用日が重なり、遊びに行く予定もあるとの事で、その日だけ利用時間の変更をする。スタッフが遊びに行く予定を考慮した 2つの候補 (遊びの予定が先で急いで利用の時間までに帰って来る or 事業所の利用を先にし、残りはゆっくり遊ぶ) を挙げ、それぞれ時間の幅が分かるように 時計を描いて説明 する。いつもと違う時間になる事に戸惑う様子もあったが、視覚的な情報があった事で自分にメリットがある方をしっかり理解して決める事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人に選択の機会を与える事が出来た。
- ・前もっての場面であり、本人が考える時間が十分にあった。
- ・口頭だけでなく、視覚的な支援も行う事が出来た。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、④、⑦

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A48 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、③、⑥**

お昼休み食堂で自宅から持ってきている iPad で動画を他者と一緒に見て過ごされている Y さん。通信速度が遅くスムーズに動画が見れないないので、環境を整えて欲しいとの希望がありました。現在見ている場所（食堂）はネット環境が無い為 Wi-fi が使用できないので、ルータ等新しく設置する事で環境が整備されストレス無く好きな動画を見れる事ができるようになりました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 配線やネット関係に強い職員に依頼し早急に対応ができた事。
- ・ 他者も同じく環境を整えた事で見れるようになった。
- ・ トラブル防止の為職員でパスワード設定

事業所判断ポイントカテゴリー ①、③

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A49 **委員会判断ポイントカテゴリー ③、⑥、⑧**

- ・知的障害があり、特別支援学校を卒業した A さん。
- ・就職して 2 年が経ち、会社から就業時間延長の話が出ていて、延長手続きが開始されていた。
- ・本人より相談があると連絡があり話しを聞くと、改めて勉強したい気持ちがあるとのことだった。
- ・学生時代からより深く学びたいという気持ちがあり、妹（中学生）の受験勉強をしている姿を見て、一層勉強への気持ちが強まったとのこと。
- ・弟（小学生）へ勉強を教えながら、自身も自宅で小学 5 年生のドリルを活用して勉強している。
- ・仕事を続けながら、勉強できる環境はないかと本人と一緒に検討。
- ・本人の自宅での様子を見た母からも同様の相談があり、本人の希望の実現に向けて相談を続けた。
- ・学習塾や通信学習など選択肢を本人、母へ提案。
- ・会社は本人の意思を尊重し、時間は延長せずに今まで同様の時間帯での就業を認めた。
- ・現在、本人は通信制の高校に合格し、学業と仕事の両立をすることができている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人からの意思を受けて、今後についての検討をすることができた。
- ・家族からの理解を得られたことで連携を取ることができた。
- ・勉強の方法について選択肢としての情報を提供した。
- ・「仕事を続けながら勉強する」という本人の意思を尊重し、周囲が柔軟に対応することができた。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑥、⑧、-⑨

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A50 **委員会判断ポイントカテゴリー ⑤、⑥、⑦、⑧**

Kさんは施設の清掃作業に従事している。作業は決まった手順で丁寧に行ってくれているが、そのルーティンから外れることに関しては苦手意識を持っている。

あるとき、通用口掃除に使っていた掃除機が故障してしまった。新しい掃除機はその場所の掃除に向かないため、試しに既存の大型掃除機を使うことにした。Kさんはその大きさに最初難色を示していたが、「試しに一緒に使ってみましょう。」と誘い、掃除機を運ぶところからスタートした。手順として、通用口ドアの上下のカギを解除し、掃除機を運びやすいようにドアを開けっ放しにする。掃除機を外まで運び出す。外は傾斜があるため、これ以上は動かさない・・・等、二人で確認しながら作業をした。2日目、3日目は、本人も戸惑いながら行き、手順も改善が必要であったが、見守りをしながら1週間行った。また「この掃除機がどうしても使いにくい場合は違う方法を考えるから言ってください。」と伝えた。本人に確認すると、「できそうです」との返答。2週間後には自分のルーティンに取り込むことができた様子であった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・いつもとは違う道具を使用するにあたり、不安がないように付き添い、一緒に手順を考えながら作業を行った。
- ・「使ってみて難しいようならば違う方法を考える。」と伝えたので、本人が気負うことなく作業をすることができた。

事業所判断ポイントカテゴリー ⑤、⑧

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A51 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、⑥、⑦**

長年ストラップや刺し子などの手芸小物を作るのが好きなTさん。60代 女性。
引込み思案で自信がなく、自分のことを話されるのが苦手な傾向が以前からあった。
長年、家で小物を制作され、折紙で色と色を合わせてしおりなどを作り、時々職員にプレゼントすることがあった。

同居している姉からは貰った人から「ありがとう」と言われるのがうれしくて、作ってあげているのではないかとのこと。

施設では刺し子ふきんを作る際、職員の指定した色系しか選べないことがあり、色を選ぶセンスが良いので自分で色を決めてやってみてはどうかと提案したところ、初めはなかなか色を選ぶことができない様子。職員に色を選んで欲しいと助けを求めることがあった。葉や果物などを組み合わせた図案を渡すと、葉は緑色、果物は赤や黄色など自分で決めることが徐々に増えてが、麻の葉などの伝統柄は色を決めかねて職員に何色の糸で縫ったら良いか相談されることがあった。「色選びは職員よりもTさんの方が上手なので、自分で決めてみてはどうですか、大好きな色を組み合わせって刺し子しても良いのですよ。」と声かけをした。すると、徐々に表情が明るく変わり好きな色を何色か合わせてきれいに仕上げることができた。

現在では自分で刺したい図案も選ぶことができ、巾着など新たな作業に挑戦したいと話され、意欲的に作業に取り組まれている。さらに、自信をもって自分から話せるようになり、笑顔も増えてきている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・最初は色を選ぶ際に一緒に考え、表情を確認しつつ色を決めていた。
- ・深く考えて色を決めていたため、次の作業に入る前にどの図案に取り組むかを話しておいた。
- ・色を選んだ時には「きれいな色だね。良いね。」と声かけをした。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A52 **委員会判断ポイントカテゴリー ③、⑥、⑩**

S利用者（車いす使用）はダンボール作業班の班長として、班の作業分担から、作業全般と点検を行っていた。S利用者がダンボールを決まった数にまとめたものを職員が結束機を使って結束を行う作業の流れとなっていた。

ある時、職員がS利用者にやってみたい作業は無いか質問したところ「結束機で結束をやってみたい。」と希望があった。S利用者は点検等のポイントを理解し正確に作業する事ができるため、結束機の作業ポイントを説明すれば理解する事ができると判断し挑戦することにした。

結束機の使用方法を説明するとS利用者は理解し結束機を操作する事ができた。しかし、ダンボールに対し結束紐のかかる位置がまちまちで安定しない課題があった。ダンボールをセットする位置を分かりやすくする為、テープ等で目印を示したが思うような効果がなかった。S利用者の作業の様子を観察すると、車いすでの作業では目線が低く奥行の感覚がつかみづらい事が分かった。

そこで、目印ではなくセット位置が固定できるように結束機に木や箱を使いガイドとなるものを取り付けた。押し付ける手ごたえがあることで、ダンボールをセットする位置が分かるようになり結束紐の位置が安定し作業が出来るようになった。

S利用者が結束機で結束作業が出来るようになった事が刺激となり、他の利用者からも結束作業をしてみたいと希望がでるようになった。ガイドがある事で難しい判断が必要なくなり、現在はS利用者の他に2名の利用者も結束作業が出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ S利用者の挑戦したい思いを尊重した。
- ・ 上手く出来ない時に職員が諦めずに改善工夫をした。
- ・ S利用者の作業の様子をよく観察する事で苦手なところが分かり、S利用者のできることから作業方法を提案した。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑥

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【就労系】
番号 A53 委員会判断ポイントカテゴリー ④、⑦、⑧	
<p>定期的に行っている体験活動（事業所外に出て行われる行事など）について、<u>参加不参加の選択を本人が決められるように体制を作った。</u></p> <p><u>参加の場合は体験活動に参加し、不参加の場合は普段通りの通常作業を行う。</u></p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p>・<u>以前はほとんど全員が参加していたが、年齢や行先の好みなどによっては普段の作業をした人も出て来ていた。</u></p>	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ④</p>	
【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【就労系】
番号 A54 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、④、⑥、⑧	
<p>同じ法人内で入所施設の利用者さんたちから、<u>当施設の製品の買物がしたいとの要望</u>が聞かれている。<u>常設扱いで菓子類の製品を取り扱ってもらうことになった。</u>余暇の時間などを利用して、<u>好きなものを選んで購入して頂いている。</u>後日、<u>また別の製品が欲しいとの要望が聞かれ、随時対応している。</u></p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p>・<u>利用者さんの要望に応え、若干ではあるが買い物ができる環境を整えた。</u></p>	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ②、③、④、⑥</p>	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【就労系】
番号 A55 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑤、⑥、⑦	
<p>Eさんの仕事は、いつも正確性が求められており日々真剣に取り組んでいる。Eさんは、仕事の中でも、シート組み作業が苦手で、シートを置く順番が分からなくなることがあり、やり直しすることが多く見られた。<u>どうしたら順番通りに組めるか Eさんといろいろな方法を試している。その結果、シートを組む際に声に出して数を数えながら指で確認することで、ペースはゆっくりであるが正確に仕上げることができるようになった。</u></p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>Eさんに合った作業方法を模索し試すことができています。</u> ・ <u>Eさんの理解度を確認しながら進めることができた。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ②、③、⑤、⑦</p>	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【就労系】
番号 A56 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑦	
<p>メガネ型材料の金具付け作業に取り組んでいた Sさん。以前から他の利用者が作業に取り組んでいる様子を気にする様子があり <u>自ら金具を取り付けようとする行動があった。本人の意思を尊重し見本を見せながら説明するも思うように出来なかった。その後も本人にはやりたい気持ちがあったため複数回にわたりトライした結果、成功率は決して高くないものの、金具をはめることまでは出来るようになった。</u></p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>初期段階で見切りをつけず、本人の意思を尊重し挑戦を続け見守った。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑦</p>	

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【就労系】
番号 A57 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、④、⑤、⑥	
<p>ヤスリがけ作業を行っている際に、<u>A さんからの視線を感じ挑戦してみますか。</u>と尋ねると「<u>やってみたい。</u>」との返答があった。<u>やり方の説明と注意点を説明した後に挑戦して頂いた。</u>はじめはバリがうまく削れていなかったが<u>繰り返しの声掛けと確認によりきれいにヤスリがけを行うことができるようになった。</u></p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>やりたいという気持ちに気づくことができた。</u> ・<u>繰り返し声を掛け、確認することで、「できる」という自信につながった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ②、③、④、⑤、⑥</p>	
【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【就労系】
番号 A58 委員会判断ポイントカテゴリー ③、⑤、⑥	
<p>E さんは以前から、<u>内職作業で台紙にシールを貼る作業を「やってみたい」と希望があり個別支援計画へ取り入れ全職員でEさんが、その作業行えるようにした。</u>作業を始めた当初は、<u>シールのずれやしわがあり不良を出すこともあった。</u><u>できた物とできていないものを、職員と一緒に見くらべ確認することで、直しがあっても「頑張る」と意欲的に最後まで作業に取り組むことができた。</u>今では、<u>作業のスピードも上がり、直しや不良の数も少なくなり、綺麗にシールが貼ることができている。</u></p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>本人の「やってみたい」という気持ちをくむことができた。</u> ・<u>本人と一緒に確認することで、自信につながられた。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑤、⑥</p>	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【就労系】
番号 A59 委員会判断ポイントカテゴリー ③、⑤、⑥、⑦、⑧	
<p>Sさんは普段、包装作業で、パンの袋詰めやラベルを出したりする作業を行っている。<u>メロンパンの中にホイップクリームを入れる作業をやってみたいと希望があった。個別支援計画に入れて、実際に行ってみた。ホイップクリームを絞る際、力が弱く中に入れることが難しい様子が見られた。絞りの作業で別な種類のパンを提案してみると「やってみたい」と返答がありやってみた。中に絞るではなく、カットしたところに入れることで力が弱くても入れることができた。</u></p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>本人のやってみたい思いを尊重し、やり方を変えることができるようになった。</u> ・ <u>できたことで自信がついた。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑤、⑦、⑧</p>	
【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】	【就労系】
番号 A60 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑦、⑧	
<p>ほとんど話す事がないYさんは、<u>お昼の給食も言われたまま残さず完食している。嫌な物でも無表情で食べており、なかなか箸が進まないことがあった。食べ物からも目をそむけているYさんに「どうしても食べられない物は残してもいいんですよ」と声掛けをした事で表情が和らぎ箸を置いている。</u></p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>意思表示が難しい利用者さんの為、様子を観察し本人の意思を確認した。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ②、③、⑦、⑧</p>	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A61 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、⑤、⑥、⑦**

知的障害、場面緘黙症、女性 30 代、

○作業の切替時、自分で次に何をしたいのかわからず泣き出してしまう。その都度、話しを聴いてどうしようか決めていたが、次第に悩み事が多くなり職員に依存する。「体調不良」「足が痛い」などメモ書きも増えた。

職員で情報の共有を図りももとは就労も目指すほど仕事に集中していた経緯も踏まえ、一日を通して作業に取り組める仕事に切り替えてみた。以前のように切替の不安もなくなり、「体調不良」への訴えも減った。逆に仕事への意欲が増え「在庫の管理」「仕事量の報告」も積極的に行なえるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 本人に毎日悩みを聞くことによって不安や悩みを考えるようになっていた。
- ・ 不安にならないよう好きな仕事に打ち込める環境を作った。
- ・ 自分のやりたい仕事を選択して伝えることが出来るようになった。

事業所判断ポイントカテゴリー ⑥、⑦

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A62 **委員会判断ポイントカテゴリー ③、④、⑤、⑥、⑧**

知的障害 男性 60代

○こだわりが強く自分の気になることがあると、作業中でも作業を勝手に中断して自分がやりたいように動いている。周囲の状況も関係なしに動くため、周囲の利用者を跳ね除ける、大きな声を出すなど迷惑にもなっていた。職員の話しを聞き入れることもできず、次第に高揚してしまい怒鳴ることもあった。

職員間で会議を開き本人の意思を尊重してはどうか、どうすれば作業へ結びつくかなど検討後、こだわり（段ボール、空き缶、リサイクル）を職員が受け入れ、積極的にやってもらってはどうか。ただし、いつでもではなく、時間や場所を指定してはどうかなど意見が上がり、本人へ伝えた。本人も嬉しそうに「いいよ。やるよ」と言ってくれ、段ボールも指定の場所に集めてから、時間になったら片付けることが出来るようになった。作業への集中力も上がる結果となった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 本人の意思を尊重することにより、楽しく作業できるようになった。
- ・ 本人のやりたことを「やっていいんだよ」と伝えることで、職員の話も聞き入れることが出来るようになった。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、④、⑤、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【就労系】

番号 A63 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑦、⑧**

T さん（高次脳機能障害）

特定の作業にだけ執着がある T さん。その作業が無い場合でも職員に執拗に要求する事が多々あった。その事により精神的に不安定になり独語が多くなる事や、別の作業においても集中する事が出来ないでいた。

別用途で使用していた製品を工夫して再活用する事を考え、その執着のある作業として提示した。

その後 T さんが執拗に作業要求する事も減り、精神的な安定、作業への意欲を因る事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・日々の細やかな観察、支援により T さんの意欲が湧く作業を選定する事が出来た。
- ・製品を工夫して再活用する事で T さんの意思を尊重する事が出来た。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、③

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【日中活動系】

番号 A64 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑥、⑦**

A さん（男性、知的障害）

言葉での意思表示が難しい B さんは、施設での土曜日の活動（レクリエーション）は休むことが多い。

ある時、レクリエーション活動で「室内ミニ夏祭り」を行うことになり、その予定や内容をイラストで説明したところ、A さんは「魚釣り」のイラストを見ていた。職員が A さんに「やりたいですか」と尋ねると大きく頷かれた。ご家庭にも A さんが土曜日の活動に参加したい希望があることをお伝えし、当日施設に来る事ができた。A さんは過ごす場所にこだわりがあるため、いつも過ごしている場所に「魚釣り」の道具を準備し、表情良く参加して楽しんでいる様子だった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉よりも絵やイラストで情報提供することで、本人に分かりやすく伝える事ができた。
- ・本人の行動や様子から本人の意思を推測することができた。
- ・本人の障害特性を理解して、本人が参加しやすい環境設定に配慮できた。

事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、③、⑥

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【日中活動系】

番号 A65 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、④、⑤、⑥、⑦**

Bさん（男性、知的障害）

自分の意思を会話で伝えるのが難しく、本人独自の単語を発したり、不機嫌な時には奇声が見られる。最近足に力が入らず思うように立ち上がったり移動したりすることができない、上履き外履き両方とも履きたいという靴へのこだわり、胃ろう部からの液漏れによる皮膚の痛み等から、より不機嫌になりやすい日が続いているようだった。

ある日、通所した際も不機嫌で奇声が続いており、靴を履き替えたいという要求はあるが、履いてもらうよう支援しても拒否が見られた。乗るのが好きな車椅子を用意しても、移乗を拒否し奇声が続いていた。そこでまず、これ以上興奮しないように声掛けは控え、Bさんの好きな作業道具を提示して職員と一緒に静かに行き、クールダウンを図った。少し声出しが落ち着いたところで、「上履きと外履きどっちが履きたいですか？外履きですか？」と声かけしつつ、Bさんの足先のみを外履きの靴に入れさせてもらった。「外履きでいいなら、このまま足を入れてください」と声かけすると、Bさんはそのまま外履きを履くことが出来た。

その後Bさんは車椅子に乗りたい様子もあったが、職員主導による移乗が嫌な様子だった為、「自分で立ちますか？それじゃあ支えるので自分で立ってください」と声かけし、自身の力で立ち上がろうとしたタイミングで職員が体を支えて移乗をサポートすると、Bさんは納得した様子でスムーズに移乗することが出来た。

車椅子に移乗後に不機嫌そうな様子だった為、疲れがあるのかもしれないと思い、「静養室で休みましょう」の声かけをすると、スムーズに静養室に移動出来た。静養室のベッドに横になってもらうと、笑顔でBさん独自の感謝の意味の単語を話し、その後しばらく眠って過ごした。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Bさんの性格や障害特性等をよく理解し、場面、場面においてBさんの気持ちに寄り添った細やかな支援ができた。
- ・意思確認の前段階としてクールダウンを行うことで、意思表出をしやすい場面作りをし本人からの意思表出を待つ事ができた。
- ・Bさんの足先のみ靴に入れるという実体験を通して、本人の意思を決めることができた。
- ・自分の力で車椅子に乗りたいという気持ちを尊重することができた。
- ・本人の行動から体調や心情を推察して環境を変え、その結果を観察し、本人の休みたいという気持ちを確認することが出来た。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、⑦、⑤、④、③

<p>【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】</p>	<p>【日中活動系】</p>
<p>番号 A66 委員会判断ポイントカテゴリー ②、④、⑥、⑦、⑧</p>	
<p>知的障害の男性利用者 Kさん</p> <p>雑誌の書き写しをして過ごしていたが、帰りの送迎時間になっても「片付けたくない」と話している。<u>急がせずに「何を書いているの?」「次はこれ書いてほしいな」「書いていたのどこかに飾る?」と話すと笑顔になっている。お願いした文字を書き写すと、納得したように帰りの準備を始めている。</u></p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>まだ活動したい本人の気持ちを汲み取ってあげることができた。</u> ・本人が納得して活動を終了することができた。納得したことで気持ちを切り替えることができた。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー ⑦、⑧</p>	
<p>【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】</p>	<p>【日中活動系】</p>
<p>番号 A67 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑦</p>	
<p>ダウン症の女性利用者 Oさん</p> <p>利用者さんから「ダイエットするの」と話があり、自ら体重を書いた紙や「〇〇さんとやりたい」といった内容の紙を見せてくれた。「おすすめのダイエット動画があるよ」と見せた所、興味を示しており、「やりたい」と伝えてくれている。職員と一緒に動画を見ながら運動した後、前向きな気持ちになっており、職員に自ら「くるくるダンスしよう」と伝えてくれている。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>本人の発信を拾い、職員が提案することで形にできた。</u> ・<u>職員も一緒に行くことでより本人の楽しみに繋がったことと、職員と関わる時間が増えた。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑥</p>	

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【日中活動系】
番号 A68 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑦、⑧	
<p>三者面談の時に保護者から、Aさんが支援学校時代に献立表をボードに書くことをしていたとの話を聞いて（機会があれば書かせて欲しいと保護者から要望あり）、活動室に献立を記入するボードを設置したところ、早速興味を示してAさん自ら「書きたい！」と申し出てきた。それからAさんの役割のように毎日他の利用者さんと交換で記入し、活動室に入ってくるきっかけや活動室にいることができる時間が増えた。</p>	
【配慮出来たポイント及び考察 等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>保護者からの情報を元に、すぐ実行した。</u> ・<u>視覚的にすぐ分かる、目につくボードを用意した。（絵柄も工夫した）</u> 	
事業所判断ポイントカテゴリー ⑦、⑧	
【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【日中活動系】
番号 A69 委員会判断ポイントカテゴリー ⑤、⑥、⑦、⑧	
<p>Aさんは、降園前に特定の女子B職員に挨拶をしないと納得がいかず、施設内を走り回ることがありAさんをさがすことが続いていた。B職員は、他の利用者さんを通園バスに誘導したりバス車内の把握をしたりする為挨拶できない時もあることをAさんに説明し、理解を求めた。「はい、わかりました」と返事をするが、繰り返し同じ行動が見られていた。ある時、<u>午後の活動終了後「帰りの会」をする時間を設けて職員への挨拶はこの場でしてから帰りの準備を行うよう全体に周知しお願いしている。</u>帰りの会を行ってからは、落ち着いて過ごすことが出来ている。</p>	
【配慮出来たポイント及び考察 等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>挨拶するタイミングを明確にした。</u> ・<u>時間を区切り、スケジュールを提示することで見通しをつけることができた。</u> 	
事業所判断ポイントカテゴリー ⑥	

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

【日中活動系】

番号 A70 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑧**

ある日の昼食時に「どうしてホールで食べないんだよー」と小さく呟いた N さん。新型コロナウイルスの蔓延によって、密な空間を避けるために、ある利用者がホールでの食事をせずにお部屋の方で食べていたが、静かな環境を求めたり、密な環境を避けたりと同じようにお部屋で昼食を取る方が増えてきつつあった。そのため、ホールでは、N さんの席の周りは少し寂しい状況になっていた。その呟きに気づいた支援員が翌日、N さんに「こっち（お部屋）で食べてみますか？」と声をかけたところ、普段は照れ屋で引っ込み思案なご本人が席を立て、お弁当を取りに行く行動をみせた。いつも比較的、行動がスローペースな N さんであるが、このときは他の利用者と同じくお弁当を取りに行くことが出来た。

さらにこれまでホールで食事をしていた時は、食べ始めからお部屋に戻るまで 1 時間半から 2 時間かかっていたが、お部屋で食事をするようになってからは、食べ終え、お茶を飲み終わるとすぐに下膳に行けるようになり、午後の生活の時間にゆとりが出来、これまで出来なかった活動が出来る時間が増えた。

N さんのふと呟いた言葉の裏にあった「自分もお部屋の皆と一緒に食事をしたい」というお気持ちに気づき、適切な声掛けによる意思決定支援が出来たことで、N さんが行動を開始するタイミングが早くなり、ゆとりが出来た時間でさらなる日中活動が広がることでプラスな面が増えてきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ ご本人の意思を確認し、自発的に移動することが出来た。
- ・ ご本人のつぶやきを支援員が気が付いた。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥

<p>【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】</p>	<p>【日中活動系】</p>
<p>番号 A71 委員会判断ポイントカテゴリー ③、④、⑤、⑥</p>	
<p>利用者さんから提案があり、提案した利用者さんも含めた数名で調理実習(ホットケーキ作り)を行った。調理実習を終え、参加した利用者さんからは「楽しかった」「またやりたい」などの声があがり、「次はチョコ作りたい」といった具体的な要望も出た。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>利用者さんからの「ホットケーキを作りたい」という意思表示を、実行に移すことができた</u> ・<u>調理実習という体験を経て、「次はチョコを作りたい」といった新たな意思を形成することに繋がった。</u> 	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、④、⑤、⑥</p>	
<p>【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】</p>	<p>【日中活動系】</p>
<p>番号 A72 委員会判断ポイントカテゴリー ③、⑥、⑧</p>	
<p>買い物活動でアニメの本を買いたいと希望していた A さん。そのことを家庭へ伝えると、本は一人でいると破いて散らかすので、買わせないで欲しいとの連絡を受ける。そこで、事業所では職員と一緒に雑誌などを破かずに見ていることを伝え、<u>買ったアニメの本を事業所に置いて見ることを提案する。</u>A さん、家庭とも事業所で見るとを了承し、A さんはアニメの本を買うことができた。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>家庭の理解を得ながら、本人の意思を尊重できた。</u> 	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑥</p>	

<p>【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】</p>	<p>【日中活動系】</p>
<p>番号 A73 委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、⑤、⑥、⑦</p>	
<p>前回初めて行った買い物活動の際、Bさんは店内に入る前から落ち着かず、店内に入ってから何を買って良いか分からない様子で商品を選ぶことができずにいた。そのため、<u>今回は事前に買い物に行く店や売っている商品の写真を見せて活動内容を説明した。</u>買い物活動が始まると、Bさんは落ち着いた様子で店内に入り、自ら商品を選んで買うことができた。</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>口頭での説明に加え、写真などを使って視覚的にも説明することでBさんが活動内容を理解した様子。</u> ・前回の買い物活動での経験も、今回の買い物活動に活かされたと思われる。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー ①、⑤</p>	
<p>【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】</p>	<p>【日中活動系】</p>
<p>番号 A74 委員会判断ポイントカテゴリー ③、⑥、⑦、⑧</p>	
<p>朝の会の際、歌を流しているが言葉を話せない方でも絵をタッチして選択することができた。</p> <p>(選択画面にジブリやディズニーの写真が添付されているものがあり、その中で迷いながら曲を選んでいる。)</p> <p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <p><u>一緒にどれがいい？と選ぶことでコミュニケーションを取ることができてお互いに楽しい時間となった。</u></p> <p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑥、⑧</p>	

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

【日中活動系】

番号 A75 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑦**

・作業について、いつも紙ちぎりを行っていたが、塗り絵もやってみますか？と声をかけるとやりたいとのことで塗り絵を取り入れた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人と話をして好きなものの塗り絵を用意し、そこから色々な話をして情緒的な働きかけにもつながった。

Ex 祭りが好き→どんな祭りが好き？どこに行ったの？と子供の頃の話をするなど。

事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑥

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

【日中活動系】

番号 A76 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑤、⑥、⑧**

誕生月の利用者さんと近所のお店に行き、自ら欲しいものを選択し購入してプレゼントしています。

利用者Aさんと、Aさん担当職員のBの2名で散歩しながらお店に向かいました。日中の為、他のお客が多くいらっしゃいました。職員Bは、Aさんの好きそうなキャラクターグッズを何種類か見せて声をかけて見ますが、「いらないの」と反応がありました。その後、「自由に見てみましょうか？」と声掛けすると、Aさんは、自由に店内を歩き回り見渡します。あるコーナーで突然立ち止まり、ジーっと見ていたためBが声掛けすると、動きが固まってしまいました。Bが商品を何点か手に取り提示すると、「これ」と言って選択し購入することができました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・自ら店内を自由に見てもらったことで、Aさんの行動を観察し気になる商品前で立ち止まる様子に気づくことができた。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、③、⑥、⑧

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【日中活動系】
番号 A77 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、⑤、⑥、⑨	
<p>いつも活動では、絵の具を使って絵を描くことを選択する S さん。ある日、職員の間違いで缶潰し活動に参加した。参加すると、たくさんの缶を積極的に潰していた。その日を境に缶潰し活動がある時は缶潰しを選択し、積極的に参加するようになった。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>職員のミスではあったが、缶潰し活動を体験したことにより缶潰しの楽しさやりがいなどを実際に感じて頂けた。</u> ・ 活動の中に缶潰しを取り入れ提供している。 	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、⑤、⑥、⑨</p>	
【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】	【日中活動系】
番号 A78 委員会判断ポイントカテゴリー ②、③、④、⑥	
<p>H さんは、原因がなくてもイライラし自傷や他害になることがある。続く時は翌日まで引きずる時もある。朝の送迎車内で <u>自分から「昨日は悪い事をした」と話し始めたので、静かに傾聴した。</u>その後、<u>支援員が「どう過ごすことが一番よいですか」と問いかけると、自分の思いを一生懸命伝えてきた。</u>その日は、切り替えができ落ち着いて活動に参加することができた。</p>	
<p>【配慮出来たポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>問いかけに対し考えた答えを傾聴しアドバイスすることができた。</u>イライラせず過ごせた時は報告して欲しいということも併せて伝える。 ・ <u>帰宅時、不安定なまま帰宅しないように声掛けや思いを傾聴した。</u> 	
<p>事業所判断ポイントカテゴリー ③、④</p>	

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

【日中活動系】

番号 A79 **委員会判断ポイントカテゴリー ②、⑥、⑦**

自閉症の A さんは、感覚遊びで使用しているお気に入りの課題がありましたが、その日はいつものように取り組む様子がなかった。そこで今までとは違う感触の物や触った事のない課題を提供すると、何度も指先や顔に近づけ触れるなど興味を示し、笑顔で取り組む様子が見られた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・行動や表情をしっかりと観察し新しい課題を提供することができた。

事業所判断ポイントカテゴリー ②、⑥

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

【日中活動系】

番号 A80 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦**

自閉スペクトラム症 男性 利用者自治会役員に毎年選任され全うされている方。
毎月1回利用者自治会役員会を開催している。役員会の中で、困っていること・悩んでいる事等を話し合う時間がある。Gさんは障がい特性からオウム返しが多く、自分の言葉で自分の意思を吐き出すことが難しい。その方が困ったことの聞き取りの中で、「昨日手を抓られた」との言葉が聞かれた。普段とは違う Gさんの様子に詳しい話を聞くが、相手の名前は言わない（隠そうとする）様子があった。職員を変え、ツール（名簿）を使用し再度ゆっくりとした言葉で話をすると、普段は仲良くしている方の名前を指さした。職員が「わかりましたよ」と話す名前を言わなかったためか「わかってない」との反応があり、相手の名前を発すると安堵し、祈るようなポーズをとり笑みが見られた。他害行為があった事は職員にとって把握不足であり今後十分気を付けていかなければならないと思う。しかし、Gさんが自分の意見を出せたことはしっかりと意思形成に繋がった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・繰り返し行われている役員会での話し合いの場が本人の中で自分の意見を発信する場として認識されたこと、信頼関係を築けた職員と話が出来たこと、相手の名前を言いたくはないが、ツールを使う事で職員に伝えることが出来たことが意思表出する手段となった。

事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

【日中活動系】

番号 A81 **委員会判断ポイントカテゴリー ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧**

自閉スペクトラム症 男性

Kさんのペースで過ごす事を優先し、日中活動についても本人のしたいことを中心に進めている。(学習・ボール遊び・社会見学) 気分が乗らないとクールダウンが多く、トイレ内で過ごしている。トイレ内で過ごす時間がとても長いこともあり、興味ある活動については常に模索している。そんな中、相談事業所の方が来園し計画書についての説明と同意を得に来ることがあった。前回はトイレに移動してしまい、相談の方と話をするまでにとっても時間を要してしまった。今回は事前に聞いていたこともあり、文字を使用し、●●時に相談の〇〇さんが来ます。と紙に書いて本人に渡したところ、●●時になるとトイレから出てきて、来園した相談支援員の方の対応にスムーズに応えることが出来た。視覚的アプローチに成功した事例。その後も視覚的アプローチを進め、現在日中活動の活動内容も紙芝居の読み手やけん玉、足浴など増えている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・視覚的アプローチ

事業所判断ポイントカテゴリー ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例につきましては、成功実例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各実例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功実例同様、要素が強い順列でお願いします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては本協会HPに掲載しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.6」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表出支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

【入所系】

番号 B01 **委員会判断ポイントカテゴリー** -⑤, ⑩

独語が多いIさん、話の途中で不安定になり他者への悪口となる場面が多い。都度、職員や世話人から落ち着いて話すよう伝えるが、興奮してムキになり他者からも「うるさい」との声が聞かれている。本人の訴えの多くは、欲しいものややりたいことの話が中心で、購入希望で叶えられそうなもの（カメラ、スマホ他）は購入し、やりたいこと（野菜作り）も行っているが、本人の心の安定にはつながらず、次々と買いたい物や実行することが難しいものを話すようになっていく。できること・できないこと、買えるもの・買えないものを伝えるが聞き入れず話がヒートアップしてしまう。本人の話をよく聞き対応しているが何がしたいのか、不安の原因を今後も探っていく。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 本人の希望を叶えているつもりになっていたが他に不安の原因があるのではないか。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑤, ⑩

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B02 委員会判断ポイントカテゴリ -④、⑨	
<p>・グループホームで生活している B さん。疾病（糖尿病）があり医師からも体重の減少に努めるようにとの指示があった。コロナ禍以前は、朝・夕とホーム周辺の歩行を行っていたが<u>コロナ禍で毎日行う事が難しい状況になり休園中は、自室にて過ごす事が多くなっていた。</u></p> <p>定期通院時に数値が高く服薬が変更になり B さんと話し合いの機会を設け室内で出来る運動を一緒に考えた。</p> <p>まずは、簡単なものからスタートしホーム内に養生テープでラダーを作りホーム内の皆さんと一緒に行う事で「楽しかった」と笑顔で行う日が増えていた。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <p><u>・本人任せになってしまった。</u></p>	
事業所判断ポイントカテゴリ -④、⑨	
【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B03 委員会判断ポイントカテゴリ -②、⑨	
<p>・グループホームで生活している C さん。気温が高い日に、C さんは厚手の長袖を着ていた。熱中症にもなってしまう為、薄手の物を着るように<u>声かけをすると「分かった」との返答があったが、着替えはしていなかった。</u></p> <p>再度声かけをすると「分かんないよ、選んで」との事で C さんと一緒に居室へ向かいその日の気温にあった衣類を数着出し、その中から選んでもらう事で着替える事が出来た。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <p><u>・マンツーマンでの対応になってしまった。</u></p> <p><u>・C さんの事を知っている職員や世話人とで情報の共有が出来ていなかった。</u></p>	
事業所判断ポイントカテゴリ ⑨	

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B04 委員会判断ポイントカテゴリ -①、-⑧、⑩	
<p>・60代男性利用者。アルコール依存症で精神保健福祉手帳を所持している。ほぼ自立していて、一般就労をしていたが、3ヶ月前から体調不良や便失禁等を繰り返す様子が見られたため、1週間分渡していた服薬を毎日こちらから渡すことを<u>提案するが、拒否があった。</u>夕食も食べれていないことがあったので、食事をしっかり摂ること、朝食をこちらで頼むようにすることを<u>提案するが、「胃もたれするからあんまり食べれないんだ」「いい大丈夫」と言っていた。</u>10月末体調不良を訴え検査したところ急性膵炎で入院している。原因はアルコールとのこと。部屋を確認すると服薬の飲み忘れもあった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>こだわりが強く、こちらの提案を受け入れてもらえなかった。</u> 	
事業所判断ポイントカテゴリ -⑧ ⑩	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B05 委員会判断ポイントカテゴリ -②、-③、-④、-⑤、-⑦	
<p><u>本人は行きたがらなかったが、天気が良かったので園庭散歩に誘う、外で転倒してしまい、もう外には行きたがらないといわれてしまった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外に出た方が良いという<u>職員の思い込み</u> ・外に出ると楽しいと思ってもらえる様な工夫がなかった。 	
事業所判断ポイントカテゴリ -②、-③、-④、-⑤	

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B06 委員会判断ポイントカテゴリ -②,-③,-⑦	
<p>言葉が話せず弱視の利用者が立ち上がった際、<u>トイレだと思い誘導する。本来は居室に行きたかったようで自傷に繋がる。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人にまず<u>何がしたいかを尋ねて反応を伺うべきであった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -②,-③</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B07 委員会判断ポイントカテゴリ -⑦,⑩	
<p>双子の K さんと J さん。生活介護を自宅から事業所の送迎で通っている。その日、J さんが体調不良により、早退となり、<u>K さんのみ利用となった。</u>帰りの送迎時に、家族の出迎えがあり、家族の姿を見ると泣きべそをかく様に、送迎車より降車しようとせず。職員が下りる様声掛けすると、突然、職員の顔を引っ掻き眼鏡を握り潰す事があった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>J さんの早退理由を、K さんがしっかりと理解するまで伝えなかった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】**【入所系】**番号 B08 **委員会判断ポイントカテゴリー -③、⑨****(Nさん 男性 37歳 障害支援区分4)**

N様は新型コロナウイルス感染症が流行する前までは家庭への外泊があったが、ここ数年は感染対策のため外泊ができずにいた。新型コロナウイルスについては国としての対応も緩和され、施設では家族の健康や行動のチェックを行った上での外泊・面会は可能としてきた。本人からは「パパ、ママ」との言葉が聞かれており、家族に会いたいという気持ちも確認できる。職員より家族に対して外泊が難しいのであれば面会だけでもどうかと伝えてきたが、家族からは新型コロナウイルスへの不安から外泊は慎重に考えたく、面会については会っても帰れないと分かれば、本人が不穏になってしまうのが心配であるため見合わせたいと話があり実現していない。その後も職員が家族と電話で話をする中で、面会後にN様が不穏となった際にはフォローしていくことを伝えているが、家族の不安（コロナ罹患、面会後の興奮）が拭えず現在に至っている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・施設としては感染を不安視する家族の意向も理解できる。「気にせずに外泊してください」とは言えない。
- ・面会後に不穏になってしまうことに対して職員のサポートは可能であるが、家族として本人に「帰れない」とガッカリさせたくない気持ちがある。面会で一時的に喜んで後から寂しい思いをさせてしまうことになる。

事業所判断ポイントカテゴリー -③・⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B09 委員会判断ポイントカテゴリ ⑩	
<p>寝具類に強い拘りがある Mさんは、毛布や敷パットが綺麗に整っていないと、職員のところを持ってきて敷き直しを訴えます。敷き直し後も納得がいかないと、直ぐに外して持ってきます。そこで、<u>交換用の敷パットを数枚用意し、本人が選んだものを敷くこと</u>で、頻繁に交換をしなくても安心して過ごせるようにした。</p> <p>しかし、<u>予備の敷パットがあることで、何度も交換したがってしまう結果になった。</u></p> <p>本人の好みや敷き方の拘りなどを共有し統一した対応をすることで、寝具類を気にせず、本人の安心に繋がるように支援している。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>本人が納得していたにも関わらず、なぜ、未使用状態でも敷き直しを訴えるのか。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ ⑩</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B10 委員会判断ポイントカテゴリ -②、-⑧、⑨	
<p>常にアルバムを持ち歩いている Sさん。定期的に渡している本人が写っている写真やお菓子の包装紙をはさめているが、アルバムの中は、早く一杯に使用したが、広告や写真の要求が多く要求し、一杯になると、また次のアルバムを欲しがることがみられる。その為、<u>広告や写真いかかにも、メモや塗り絵使って職員の名前や塗り絵を書いた絵をはさめるよう塗り絵の道具を渡した。</u>すると、名前を書いたりや塗り絵は行うものの、<u>書き終え得ると、すぐに破き、道具をゴミ箱に捨てる様子</u>がみられた。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルバムを一杯にしたいのか不明であり、職員や家族の見立てが間違えているのか。 ・メモや塗り絵をアルバムに入れることはしたくなかったのか。 ・そもそも、<u>職員の名前や塗り絵をすることに対してあまり興味がなかったのではない</u>か。 <p>事業所判断ポイントカテゴリ ⑨</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

【入所系】

番号 B11 **委員会判断ポイントカテゴリー -②, -④, -⑦, ⑨**

偏食傾向の強い A さん。形態によって食べられない食品も多く、特に白飯は食べることが出来ず、事前におかずやふりかけをを混ぜないと食べようとしない。自分で混ぜることができないため、支援員が事前に行っていた。給食で三食丼が出た際に、少しでも食べてほしいという思いから、ご飯と具を混ぜて提供したが全く手を付けずに食事を終了してしまった。卵がそぼろになっているのは苦手だったようで、食べることができなかった。普段、肉類は好んで食べており、ほうれん草や卵も食べていたため、混ぜていれば食べられると思っていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 本人の意思を確認していなかった。
- ・ 支援者の思いから判断してしまい、本人の意思を尊重できなかった。

事業所判断ポイントカテゴリー ⑨, -④, -⑦

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

【入所系】

番号 B12 **委員会判断ポイントカテゴリー -③、-⑤、-⑧**

食後中心に排便が見られる B さん。食後トイレに導入する前に食席で食器を投げ捨ててパニックになってしまう。腹痛があって、パニック的な行動になっている可能性もある。本人にも「お腹が痛い時は、トイレと言いましょう」と言い聞かせる。腹痛や排便がなくても、パニック的な状態になることがあり、表現と行動の関係性が確立しない

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人から「トイレ行く」と意思を伝えることも出来るが、行動より先に精神的なパニックが始まってしまふ為、パニックになってかその事後対応になってしまうことがある。
- ・本人の状態を長く観察している中で、便秘の不快感があることでパニックになってしまうことは職員間で周知しあっており、本人が不快になる前にトイレに連れて行くなどの対応を行なっているが、特に朝食の終わり頃の他の要因(他の利用者の声など)と健康面との要因が重なって突然パニックになってしまう為、至難している。集団生活の中での支援の難しさと課題を感じている。
- ・ご本人としては、静かな環境を好んでいるので、例えば個食を臨んでいてそれを実現できる環境が整っていれば、ご本人のパニックになる要因を減らすことが出来るかもしれない。

事業所判断ポイントカテゴリー -③、-⑥、-⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

【入所系】

番号 B13 **委員会判断ポイントカテゴリー -①、-④、-⑧**

Aさんは、体調不良に伴う処置（浣腸、皮膚疾患に伴う薬の塗布）を嫌がり、激しく抵抗する。その後、暫くはトイレ自体に拒否感を持ってしまう。あらかじめ、リラックスできる誘導、意思の組みとりが出来れば良いと思う。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・皮膚疾患の為、お薬を塗布する必要がある利用者さんのご理解が適わない状態だと、適切に処置が出来ないことがあり、言語的な説明では意思決定ツールとして不足していることを感じつつも、支援の難しさを痛感する事例である。

・それまで処置を受けてこられなかった方など、慣れていない事への不安が強いという事例で、繰り返し本人が安心できるような言葉かけをかけつつ、ご本人が少しでも落ち着いている時を観察するなど職員で配慮しているものの、言語的なコミュニケーションでのご理解を得ることが難しい場合、よりよい支援の方法について思案する必要がある事例である。

・同じ処置を受けている人(見本)を見せて安心してもらうなど、配慮できることを見つけて取り組んでいきたい。

事業所判断ポイントカテゴリー -①、-④、-⑧

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B14 委員会判断ポイントカテゴリー -④、-⑤、-⑧	
<p>Iさんは、過去に作業所での作業に携わっていたが、病気をきっかけにしばらく作業活動から離れていた。ここ数年病状も落ち着き、施設内での活動へも意欲的に参加できるようになっていたため、<u>作業所での作業を再開することを提案した。作業賃金で好きなものを購入できるメリットや、苦手な利用者とは別日であること等も伝え、週1回から始めてみることで計画を立て、Iさんからは「やる」との了承を得た。</u></p> <p>しかし、<u>当日になると表情が曇り、「行かない」と拒否することが続いたため、作業所での作業は中止することとなった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>見学や体験等行わなかったことから、作業に対するイメージがわからないまま「やる」答えてしまっていた。</u> ・「作業所での作業」に対し、「たいへん」「難しい」等のマイナスな気持ちがあることを推し量れなかった ・「したいこと」と「できること」の差をIさんから<u>アセスメントすることが不十分だった。</u> 	
事業所判断ポイントカテゴリー -④、-⑤	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B15 委員会判断ポイントカテゴリー -①、-②、⑨	
<p>全体の活動の中で映画を観る時間があり、どういった作品を観たいかその場にいる全員に呼びかけて聞き取りを行い、数名から幾つかの作品名があがった。そこから<u>挙手にて多数決を採り、票が多かった物を観る事にしたが、呼びかけに対し同じ利用者さんが複数回手を挙げる事や、挙手等の反応が無い状態。結果、皆はどの作品を観たいのか、それとも候補の中に観たい物が無かったのかが分からないまま、映画の上映を始めてしまった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の時間は決まっており、<u>選ぶ事に時間を掛けてしまうと観る時間が少なくなってしまう為、上映を始めてしまった。</u> ・<u>言葉を用い聞き取りを行った為、これを用いたやり取りが出来る方にしか伝わらず、尚且つ伝わる方へもしっかりと理解が出来る様な言葉選びが出来ていなかった。</u> 	
事業所判断ポイントカテゴリー -①、-②、⑨	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B16 委員会判断ポイントカテゴリ -②、-⑥、⑨	
<p>Bさんは本を見る事や字を書く等自室で過ごす事が多い。しかし一人でいる事を強く好んでいるわけでは無く、他者との関わりも望んでいる。談話室にて他の利用者さんの動きを眺める事や、ちょっとした物を運んで職員の助けになる等関わりを楽しんでいる。しかし人同士の相性という物は少なからず有り、Bさんを好まない利用者さんが談話室に常に居り邪険にされる事で、<u>Bさんは他者との関わりを十分に持てない状況となっている。</u>互いの距離を保ちながら過ごせる環境を模索している中ではあったが、<u>Bさんは他者と楽しく過ごす時間が思った様に取れず、自室で過ごす事にも寂しさを感じる様になり、窓から外に出る様になってしまった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自室で本などを見て過ごせる事から、<u>環境構築までの時間に猶予が多くあると考えてしまった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -⑥、⑨</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B17 委員会判断ポイントカテゴリ -②、-③、-⑧	
<p>訴えや要求があると近くに居る職員の手を引きその場に連れて行くCさん。</p> <p>Cさんに連れられていつも通りの対応を行うが、<u>納得せず訴えを繰り返す。</u>暫くしてCさんは別の職員へ対応を求めた。<u>その職員はCさんが靴下をはいていないことに気が付き、すぐに対応しCさんも安心した表情を見せる。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訴えに対し<u>表情のみでなく全身の観察が必要であった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -②、-③、-⑧</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B18 委員会判断ポイントカテゴリー ⑨, -⑧, -⑥	
<p>健康診断で2次検査の必要性があり通院したDさん。精密検査が必要との結果が出て、Dさんにはかみ砕いて胃カメラの方法等の説明を行うが、内容的に難しく理解してもらうことができなかった。</p> <p><u>Dさんの意見を求めることなく、保護者が精密検査実施を決定した。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がいのため病気や検査方法について理解ができない ・保護者が決めてしまった。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー ⑨, -⑧, -⑥</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B19 委員会判断ポイントカテゴリー -③, -⑦, ⑨	
<p>普段の生活の中で、食べたいもの、飲みたいものを絵カードを使用し、コミュニケーションを取っているMさん。</p> <p>買い物でジュースを購入してきたので、せっかくならその日のティータイム時に飲みたいだろうと思いコップに注いで準備をした。しかし、ティータイムになると本人は絵カードで粉コーヒーを提示してきた。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の思い込みで準備をしてしまった。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー -③, ⑨</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【入所系】

番号 B20 **委員会判断ポイントカテゴリ -③、⑨**

父親がおやつをもって面会に来ることが多い A さん。スナック菓子の他にもパンやシュークリームなどを持ってきてくれる。他のお菓子（スナック菓子）を食べたいと A さんより訴えがあるが、パンなどの賞味期限が迫っていることが多く、パンを先に食べるよう誘導してしまっている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・賞味期限があるため、配慮が難しい。

事業所判断ポイントカテゴリ -③、⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【入所系】

番号 B21 **委員会判断ポイントカテゴリ -⑤、⑩**

自分のペースで生活がしたいという思いが強い O さん。1つ1つの日常動作が緩慢でトイレに入っている時間が長く、居室に歯磨きに必要な物はそろっていたが、歯磨きをほとんど行っていないことがわかった。そこで新しい歯ブラシを渡し、歯磨きに取り組む事を勧め、実際に取り組んでいるときに褒め、本人のモチベーションをあげることで歯磨きに取り組むようになった。しかし、歯磨きにも時間が掛かってしまい夕食の配膳前にも歯磨きをしている様子が見られるようになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の日常動作が緩慢と言う点に配慮し、歯磨きに取り組む時間を定めてから勧めるべきであった。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑩

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B22 委員会判断ポイントカテゴリ -②	
<p>お話好きの C さんが、大学生の実習生と楽しそうに話をしていた。C さん自身の事について話をしていたが、<u>徐々に過去に嫌な思いをしたことについて実習生に訴え始めた。C さんは表情も険しくなり時々泣きそうな声を出すなど不安定になっていった。</u></p> <p>途中で職員が実習生と交代し、明るい話題に話を持って行ったが C さんの「気持ちの切り替え」をするのに時間がかかってしまった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察等】</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>C さんの性格上、過去にあった嫌なことを思い出すと不安定になることはわかっていたので、もっと早く実習生と交代して明るい話題に切り替えるべきであった。</u> • <p>事業所判断ポイントカテゴリ -②</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【入所系】
番号 B23 委員会判断ポイントカテゴリ -②、-③ -⑦	
<p>夕方頃、D さんが泣きながら大きな声で何かを訴えていた。何を訴えているのか聞き取ろうとしたが言葉が<u>聞き取れなかった。</u>いつもこの時間 D さんは眠そうにしているので「眠い」という訴えであると思い、<u>部屋のベッドで休むよう促すも動き出す事はなく不穏状態が続いた。</u></p> <p>そこに別の職員が来て D さんに聴き取りを行うと、「寒い」と訴えている気がするとのことで<u>上着を D さんに渡した。</u>上着を手にするるとすぐに D さんの不穏状態は納まり笑顔が見られた。周囲にいた数名の利用者が上着を着用しているのを見て自分も着用したいとの訴えであった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察等】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本人の訴えを「聞き取れない」とすぐに判断せず、他の職員に相談等をしていればもっと早くに <u>田をくみ取れ不穏状態は納まったと思う。</u> • <u>周りの状況を良くみて分析し、何を思っているのかももっと気持ちに寄り添うべきであった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -②、-③</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

【入所系】

番号 B24 **委員会判断ポイントカテゴリー -①、 -②、 -⑥**

S様（男性・自閉症・支援区分5）

- S様は多飲水の傾向（病歴に低ナトリウム血症、水中毒症）があり、1日の水分提供量を定めている（食事、ティータイム以外のもの）。要求が通らないと他害行為がある為、「お水一杯」という言葉が聞かれた際には、即時に対応をしている。しかし何度も要求が続く事があり、要求が通らない事で不穏になり他害行為や壁やドアを殴る等の行為が見られ、結果、興奮を抑える指示薬を内服している状況になってしまっている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- 多飲水への理解が得られない。
- S様が要求するタイミングでの水分提供となり、意思の確認がされておらず曖昧であり明確化されていない。（現在、要求前に提供するタイミングを決め、状況観察中）

事業所判断ポイントカテゴリー -①、 -②、 -⑥

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B25 委員会判断ポイントカテゴリー -③、 -⑥、 ⑨	
<p>委員会考察ポイント ③ ⑥ ⑨</p> <p>B様（女性・知的障害・支援区分5）</p> <p>・会話可能。ほぼ毎日不穏になり、棟外に聞こえるほどの大声での暴言や他者への八つ当たり行為がある。その事で棟内の方も不満が溜まり、利用者同士のトラブルが起きている。<u>思いを傾聴するが、要望に際限がないため対応しきれず、不穏状態を防げていない。</u>医師にも相談しているが精神科薬は本人の体調を考慮するとこれ以上は増やせない。解決策を見つけることが出来ない状況が続き、徐々に不穏状態が強まってきた。現在は施設全体でフォローし、本人に対する<u>サービスの質の向上を図ることで不穏状態の解消が図られてきたが、有効な対応を考え、実践するまでに時間がかかってしまった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>人的な余裕や金銭面、家族のサポート等も不足しており対応困難。</u> ・施設の作りも古く、<u>本人の為のスペースを確保できないこと</u>で周りの方にも影響が出ている。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー -③、 -⑥、 ⑨</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B26 委員会判断ポイントカテゴリー -②、 -④	
<p>言葉がうまく出てこず不明瞭だが、<u>指差し等はできる方に文字盤を使用して意思確認を行おうとしたが言葉として成立していなかったため意思確認ができなかった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の指差しはできるが言葉として成立していなかったため、意思を汲み取ることが困難だった。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー -⑤</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B27 委員会判断ポイントカテゴリー -③、-⑤	
<p>利用者 Aさんは夜間紙オムツを使用し就寝していた。本人より<u>紙オムツを外して休みたいと話があった</u>。そのため居室の空いているスペースに<u>ポータブルトイレを設置し、夜間に使用してもらうことにしたが</u>、トイレに間に合わず、衣類を濡らすことがあった。後から理由を聞くと、同室者の Kさんも同じポータブルトイレを使用しており、同じ時間帯に使ったり、我慢しギリギリに起きてトイレに間に合わず漏らしてしまっているとの話があった。再び紙オムツを使用して就寝することとなり、本人の意思表出を受けて対応したが、意思決定支援に繋がらなかった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思表出を受けて対応したが、十分に意思を汲み取れていなかった。 ・ポータブルトイレの設置のみの対応だったため、もう一つ<u>ポータブルトイレを増やしたり時間を見てトイレの声掛けをする等の対応をしても良かった</u>。 	
事業所判断ポイントカテゴリー -③、-⑤	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【入所系】
番号 B28 委員会判断ポイントカテゴリー -③、⑨	
<p>職員が食事の準備をしていると、Aさんが職員の後ろを付いて歩き、「<u>散歩に行きたい。</u>」と<u>何度も言っていたが</u>、食事の準備で忙しい時間帯であることだけを伝えて、そのまま準備に入ってしまう、本人の散歩に<u>行きたいという気持ちに対しての支援ができていなかった</u>。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の準備に気が向いてしまい、お客様の気持ちに寄り添うことができなかった。 ・本人に<u>散歩に行けない理由や、行ける時間帯等をきちんと伝えて対応するべきだった</u>。 	
事業所判断ポイントカテゴリー -③、⑨	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

【入所系】

番号 B29 **委員会判断ポイントカテゴリー -②、-③、-④**

コロナウィルス感染症対策のため、生活棟から出ることが出来ない状況が続いていた。Bさんから、活動棟（離れた場所）にある図書コーナーに行きたいとの要望があったが、感染症対策のため生活棟から出るのは難しいことを伝え、棟内にあった本人用の本を渡す。納得してもらえず本を戻す様子があったため、図書コーナーから好むような本を数冊選び持ってきて手渡すが、満足する様子はなかった。再度、違う種類の本を多めに持ってきて手渡すが、同様であった。その後もスタッフの腕を引き何かを要求する様子が続いていた。気分転換が図りたいのかもしれないと外へ散歩に行くが、表情は変わらないままであった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・「本が読みたい」「外に出たい」という要望ではなく、読書も含めて「図書コーナーで過ごしたい」という本人の意思を汲み取ることが出来なかった。

・感染対策についての説明を理解してもらうこと、どうやって伝えれば良いかの手段も難しく、Bさんの要望や意思に添える代替案も思い浮かばなかった。

事業所判断ポイントカテゴリー

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【児童系】
番号 B30 委員会判断ポイントカテゴリ -⑤、⑩	
<p>・行事の際の<u>おやつ等、写真、文字などを含めて選択肢を提示したが、本人の望むことだったのか不明であった。選択肢を掲示した事で意図せず限られた中で選択をせざる得ない状況を作ってしまった。「いない」という思いや違う物はないのかという思いがあっても伝える方法がない状況としてしまった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <p>・<u>選択肢が限られている状態だった。その中に本人の望まれる物がなくても選ばなくてはいけないという状況をつくってしまった。選択肢に「いない」という物がなかった。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <p>.</p> <p>事業所判断ポイントカテゴリ</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【児童系】
番号 B31 委員会判断ポイントカテゴリ -⑥	
<p>(Sさん 男性 23歳 重度知的障がい)</p> <p>・<u>入浴が大好きで入浴中は大変機嫌が良いが、入浴後必ず泣きながら顔面を出血が伴う程、叩く自傷を行ったり、着替えを拒むように寝転がりジタバタする等、不満を表される。</u>そのため、<u>湯船に浸かる時間を長めに取ったり、本人の好まれる声掛け等</u>を行うなど対応するが不満があり、同様の行為に至ってしまう。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <p>・<u>言葉を発することができないため、意思、思いを確認することができない。</u></p> <p>事業所判断ポイントカテゴリ</p>	

<p>【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】</p>	<p>【児童系】</p>
<p>番号 B32 委員会判断ポイントカテゴリ -①、-④、-⑧</p>	
<p><u>活動に飽きて遊び込めない児童が職員に水分補給のカードを提示したため、ドアを開けると部屋から飛び出し、水分補給せず廊下を走り回り、切り替えるのに時間がかかった。</u></p>	
<p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コントロールが下がる前に<u>別活動を提案</u>し、切り替える必要があった。 ・コントロールが下がっている児童の要求を受け入れる場合、<u>選択肢を提示するなど、真の要求なのかを丁寧に確認</u>する必要があった。 	
<p>事業所判断ポイントカテゴリ -①、-④、-⑧</p>	
<p>【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】</p>	<p>【児童系】</p>
<p>番号 B33 委員会判断ポイントカテゴリ -②、-④、-⑧</p>	
<p><u>自己統制が下がっている児童に、次活動に誘うため使っていた玩具の片付けを促すと、怒って玩具を投げる</u>ことがあった。</p>	
<p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己統制が下がっている児童に、見通しがもてない状態で、ニーズのない活動を促すと痛癢に繋がりがやすい。 <p>クールダウンして、<u>平静な状態</u>に戻ってから、<u>次活動を提示</u>して片付けを促し、見通しを持てるようにし、行動を切り替える方がよい。</p>	
<p>事業所判断ポイントカテゴリ -②、-④、-⑥、-⑧</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【児童系】
番号 B34 委員会判断ポイントカテゴリー -⑧、⑨	
<p>入浴の順番を決める際、30分単位で時間を区切り、各利用者に自由に選んでもらっている。<u>職員の目的としては、順番を明確にするねらいであった。</u>利用者の帰園時間が異なるが、早く入りたい人もいれば、遅く入りたい人もいる為、既にいる人から入浴時間を決めてもらっていた。すると、遅めに帰園したAさんから「〇〇時が良かった(すでに予約が入っている)」「Bさんの後が良かった」など不満が出た。</p>	
【配慮が困難だったポイント及び考察 等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・「〇時に入浴の順番を決める」とルール化していればAさんも納得できたのかもしれない。 	
事業所判断ポイントカテゴリー ⑨	
【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【児童系】
番号 B35 委員会判断ポイントカテゴリー ⑨	
<p>ユーネクストに集中しているAさんに対して<u>入浴の時間になっていると伝えるが、</u>ユーネクストが観たいといい、中々次の行動に移す事ができずにいる。何度も「お風呂だよ」と声はかけるもののAさんはユーネクストをどうしても観たいとなっており不穏気味になっている。</p>	
【配慮が困難だったポイント及び考察 等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・関心の強い活動から切り替えるタイミングを提供できなかった。 ・予め時間を入浴前に設定していたり、タイマーの使用で切り替えることができたかもしれない。 	
事業所判断ポイントカテゴリー ⑨	

<p>【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【児童系】</p>
<p>番号 B36 委員会判断ポイントカテゴリー -②、-⑦、⑨</p>
<p>ほぼ発語のない Y さん（中 2）に自立課題が難しいのか、やりたい、やりたくないの意思表示をしてもらうよう <u>〇×カードを提示</u>したが、どちらも指さしてしまい <u>表情からも読み取ることが難しかった</u>。手渡しすると課題を行える時もあるが、腿や腕、手の甲を抓る自傷行為をさせてしまった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>表情を読み取る</u>力が不足していた。 ・ 意思表出が困難な場合でも、<u>待つ姿勢</u>が大切だった。 ・ 人手不足で比較的手のかからない Y さんに対しての支援を後回しにしてしまい手厚くする事が出来なかった。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー -②、-⑦、⑨</p>
<p>【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【児童系】</p>
<p>番号 B37 委員会判断ポイントカテゴリー ⑩</p>
<p>自らの意思表出が難しい利用児 M さん。絵カードを活用することを考え、<u>職員 A が分かりやすいと感じた</u>イラストを使い絵カードの練習を始めた。しかし、学校でも活用し始めており、<u>それぞれ違うイラスト</u>だったため、利用児 M さんは混乱してしまった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との情報共有。 ・ <p>事業所判断ポイントカテゴリー ⑩</p>

<p>【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】 【児童系】</p>
<p>番号 B38 委員会判断ポイントカテゴリ -③</p>
<p>保護者が <u>A さんのために用意した新しい上靴を本人に渡し履いてもらおう</u>としたが、どうしても以前から履いていたものに固執し、保護者の用意したものを履くことが出来なかった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人はこだわりが強く、変化が苦手であった。 ・ <p>事業所判断ポイントカテゴリ -③</p>
<p>【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】 【児童系】</p>
<p>番号 B39 委員会判断ポイントカテゴリ -③、-⑦、⑨</p>
<p><u>週の始めに登園渋り</u>がある男児。</p> <p>当日も、<u>事業所までは母親と来たが車から下りず拒否</u>をしていた。いつもは<u>時間をかけ様子を見守ったり</u>、<u>利用自体を見送ったり</u>してきたが、母の都合で利用を見送る事が出来ず、スタッフが<u>抱える形で登園</u>した。入室後も本児は<u>気持ちが切り替わらず</u>、怒ってしまっていた。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本児よりも<u>大人の事情を優先</u>させてしまった ・時間的な余裕もなく本児の<u>気持ちの汲み取り</u>も不十分であった <p>事業所判断ポイントカテゴリ -③、-⑦</p>

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【児童系】
番号 B40 委員会判断ポイントカテゴリ -⑤	
<p>気分のムラが大きい未就学男児。</p> <p>年長児向けの就学トレーニング行事の参加が難しく、1度目は登園するものの前半は参加できず。2度目は登園自体を拒否していた。前日までは本児から参加の意思はあったものの直前になり拒否。今後の行事参加も同様のことが予想され、対応に苦慮している。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前予告が十分ではないことや行事参加そのものに興味を抱いていない様子があり、本児のモチベーションが持続しないまま当日を迎えてしまった。 <p>事業所判断ポイントカテゴリ</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【児童系】
番号 B41 委員会判断ポイントカテゴリ -③	
<p><u>時間を決めて、本児のやりたいことを優先させているが、口約束だけで行動が伴わない。</u></p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <p><u>タイムタイマーを使い、視覚支援を行うが、切り替えが難しく結果に繋がらない。</u>背景には、学校の勉強が難しく、<u>理解出来ていないところが伺えるが、声掛けし一緒に行うよう支援するものの、全く聞く耳をもたない。</u></p> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -③</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【児童系】
番号 B42 委員会判断ポイントカテゴリー -⑤ -⑧	
<p>小学生Cさん・男児</p> <p>登園しても「<u>遊びたい、勉強はしたくない</u>」と言い、スケジュールや用意してある教材を床に落とすなどして拒否する姿がみられる。職員が「<u>どんな事に取り組みたいですか?</u>」と尋ねたり、<u>ゲーム性のある比較的学習要素の少ない教材を準備したりするもの</u>、なかなか応じられない事がある。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人が十分に納得したスケジュールを提示出来ていなかった。 ・本人の意思を確認する機会があったものの、<u>選択肢などの提供が少なかった</u>。 ・本人が楽しめる教材などを十分に把握出来ていなかった。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー -⑤ -⑧</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【児童系】
番号 B43 委員会判断ポイントカテゴリー -④、-⑤、⑨	
<p>小学生Dさん・男児</p> <p>最近放課後は家で<u>自由に過ごしたり放課後教室(地域の方が行っているボランティアの預かり)に行き遊びたいという気持ち強くなっている様子</u>。元気に登園出来る事も多いが、職員が学校に迎えに向いても、事業所に<u>行きたくないとなかなか言えずにその場で黙り込んでしまったり、泣いてしまったりする事もある</u>。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思表示が出来るようにさまざま声かけをしたが、口頭でのやり取りが中心になってしまっ<u>て他の方法を十分に検討しなかった</u>。 ・事業所に登園して欲しい<u>保護者と職員の気持ちが優先してしまっ</u>た。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー -④ ⑨</p>	

--【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【就労系】

番号 B44 **委員会判断ポイントカテゴリー -①、 -②、 -③**

Iさんはダウン症の方で言葉を話せない方である。お昼休み職員のポケットを指さしてきたので、携帯電話だと思い取り出し見せたが反応が無くまた、指を指したので以前カメラ機能にして渡した所興味を持っていたので、カメラ機能にして渡すが違うとの事で、絵カードを使用し活動内容が記載されている5種類の中から指を指してもらおうが違ったようで、意思を確認する事ができず伝わらなかった為目の前にあるパーティションを押す行為がありました。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・その後担当職員に確認し日中携帯電話で動画を見ていたとの事で、携帯で動画を見たら落ち着きを取り戻し過ぎられています。
- ・絵カードは活動等は記されているが、余暇や休憩等活動外のカードがないので選択肢を広げる工夫が必要であった。
- ・他の職員に日中活動で携帯を使用していたのか確認を怠っていた。

事業所判断ポイントカテゴリー -①、 -②、 -③

<p style="text-align: center;">【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【就労系】</p>
<p>番号 B45 委員会判断ポイントカテゴリー -①、-③、-⑥、⑨</p>
<p style="text-align: center;">20代女性 身体障害・知的障害 （支援学校卒業）</p> <p>児童施設に就労中。乳幼児との関わりが好きで保育士にあこがれていたことから、担当教諭の勧めもあり職場実習後用務員として入職した。仕事では、乳幼児との関わる業務が多少あるもののメインの業務は用務作業のため、増々保育の仕事をしたと感じるようになり、業務を行うモチベーションが下がってしまった。</p> <p>園長・本人・家族と相談を重ねる中で、用務の仕事も大切な仕事であること、施設の運営上本人の希望する保育業務はできないことを伝え、今まで通り用務中心の業務を行っている。本人は、用務員での採用であることを理解はしているが、希望していた業務ができないことへの悔しさやもやもや、同年代の保育士を羨む気持ちが増していき、自分の働き方について常に迷いや悩みを抱えている状況。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思を表出しているが、安全面や衛生面を理由に実現できていない。 ・施設の体制や用務の仕事量の多さから実現できていない。 ・<u>児童施設職員の役割、保育業務について本人に理解できるように説明できていない。</u> ・用務員としての入職であることが前提になっている。 <p>事業所判断ポイントカテゴリー -③、-⑥、-①、⑨</p>

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】**【就労系】**番号 B46 **委員会判断ポイントカテゴリ -②、 -③**

Aさんは主に施設の清掃作業に従事している。そしてなるべく早く就職したいと望んでいる。

Aさんは作業能力が高いが、作業中に体調不良を訴え、作業を中断したり早退したり、欠勤することがある。体に熱がこもりやすく、のぼせや頭痛、腹痛を訴える。

就職に向けて、仕事を休まないで来ることが条件の一つとなるが、現段階ではそれを満たしていない。

体調不良の原因が、気持ちから来ているようにもみられる。就職も清掃会社を希望しているわけではない。就職までの見通しが立たないことで、モチベーションが保てないのかもしれない。

もっと本人と話し合える場をつくり、就職に向けて、具体的な方法や見通しを伝えていかなければと思う。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 就職について本人がどう思っているか再度話を聞く場が必要。
- ・ 就職に向けて具体的に伝え、モチベーションを保てるようにしていく。

事業所判断ポイントカテゴリ -②、 -③

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】**【就労系】**番号 B47 **委員会判断ポイントカテゴリー -①、 -③、 -⑥**

多動のあるKさん。30代 男性。自閉症。

自分なりに作業を決め取り組むことができるものの、すぐに「いっぱいやったから、もうやらない」と言って作業を中断して、作業室内を独り言を話されながらウロウロされている。

利用が始まった時からボールペン、シャープペンなどのペンの組み立てに携わってきたが、10代から網膜剥離で視力がかなり弱く、また組立作業では不良を出すことが多くなり、ペンの組み立て作業が困難になってきた。

やりたいペンの組み立て作業を見つけては「やるんだ」と言って職員の「待ってください」という声かけで待てず、部材を奪ったり、その場で組み立ててしまうことがあったりするため「不良を出すと困るのでこの作業はできません」と話すと、大きな声で「うるせえ」と叫んだり、職員の肩を強く叩いたり、机を大きく何度も叩いたりすることがあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・他の作業を進めるが「やんねえ」といって拒否されることがあった。
- ・どこまで見えているのか把握しきれず、適切な配慮ができなかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -①、 -③、 -⑥

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【就労系】
番号 B48 委員会判断ポイントカテゴリ -⑦、⑨	
<p>なかなか行動に移せずに、固まってしまうたり行動が遅くなってしまうりする、ダウン症の方の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動かないので声掛け等で行動を急がせてしまう。 ・手を引いて移動する。 <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>動かないときは何をしても動かないことがあるので本人の意思決定を待たなくなってしまう。</u> ・決められた時間、団体行動の制限もある中で意思決定を待っている時間をなかなか取りにくい。 <p>事業所判断ポイントカテゴリ -⑦</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【就労系】
番号 B49 委員会判断ポイントカテゴリ -⑧、⑩	
<p>就労 B で働いている高齢の A さん、体の調子が悪いことを理由に継続した登園ができずにいる。登園できた日でも本人から足腰の痛みなどの訴えがある。普段は立って作業を行っているため、座って取り組んでも良いことや静養を促しているものの、「立っている方が楽」と言って毎回拒んでいる。定期的に通院しており、医師からは足腰の痛みについては特に問題ないとの見解。現在 GH で生活しているが、欠席した際に GH には職員が不在で日中は 1 人で過ごしているとのこと。本人は「働きたい」と希望しているが実態が伴っていない。仕事の能力についても出来高としては低いものがある。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きたいという意思があっても実際に継続した登園に繋がっていない。 ・<u>いつまで働くことができるか年齢と実態に沿った支援の行き詰まり。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -⑧、⑩</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【就労系】
番号 B50 委員会判断ポイントカテゴリー -②、⑨	
<p>パンの製造の仕事に取り組む A さん。朝、焼き上がったパンのラベルを貼る作業をお願いしたところ、毎日自分から職員に声を掛けて取り組むようになった。しかし、時間の関係でどうしても他の利用者さんをお願いすることになってしまってから、その後気持ちが少し沈んでいるように見える。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝は、商品の配達時間の関係もあり忙しい為、ラベル貼り作業後 A さんには、他の利用者さんと協力して取り組んで欲しいことをお伝えし、理解してもらうことが大切。 ・<u>他の利用者さんをお願いするときに、A さんに説明することができなかった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー -②、 -③</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】	【就労系】
番号 B51 委員会判断ポイントカテゴリー -③、 -⑥	
<p>R 利用者さんが「パソコン（データ入力作業）やりたい」と職員へ訴えかけている。データ入力は人気の作業であり、パソコンの台数には限りがある。他の利用者さんも希望しており、R さんは昨日取り組んでいた状況。また、下請け作業は納期が迫っておりデータ入力より下請け作業を優先して進めてほしい状況であった。R さんには、今日は下請け作業に取り組んでデータ入力作業は他の利用者さんに譲ってほしいとお願いした。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>パソコンの台数には限りがあり、全員が取り組める環境にない。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー -③、 -⑥</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【就労系】
番号 B52 委員会判断ポイントカテゴリ -②、 -⑧、 ⑨	
<p>データ入力作業に取り組んでいたZさん。いつものようにデータ入力に取り掛かるも、入力できるデータがありませんと表示され、作業を進めることができずにいた。何度もトライすることで入力データが出てくるかもしれないためそのまま繰り返し継続して頂くようお願いした。しばらくして進捗の確認をしたところ、インターネットを閲覧しデータ入力とは全く関係のない操作をしていた。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>データ入力の不確実性を把握しきれていない状況下で、途中確認をせずに利用者本人に任せたままになってしまっていた。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -②、 -⑧</p>	
【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】	【就労系】
番号 B53 委員会判断ポイントカテゴリ -②	
<p>施設外清掃で、担当になっていた利用者が欠席となったため、Tさんに急遽清掃お願いすると「はい」と返答し、準備を済ませ、いつも通り清掃作業を行う。その後、昼休憩時電気をつけず更衣室で正座をしていた。どうしたのか尋ねるが「考え事していた、大丈夫です」と返答があったが、いつもと違う様子だった。相談室に行き改めて尋ねると「いきなりの清掃は嫌だった」と泣きながら話があった。急な変更があったことで、清掃の日は「清掃だ」と言い聞かせながら来ているということがわかった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急に予定が変更となり、不安にさせてしまった。 ・<u>「はい」と返答があったため、大丈夫だろうという職員の思い込みがあった。</u> ・「はい」と言っている、それが本心であるとは限らない。 <p>事業所判断ポイントカテゴリ -②</p>	

<p align="center">【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【就労系】</p>
<p>番号 B54 委員会判断ポイントカテゴリ -②、⑨、⑩</p>
<p>下請け作業を行っているが、業者より材料の減りが激しい為に確認して欲しいとの問い合わせを受けている。本人の作業状況を確認したところ正確に取り組めているが、本人の拘りからの繰り返し材料を使いやり直している状況があり、本人に正確に取り組めている為やり直さなくても良い事を伝えている。しかし本人の拘りとなっているのか状況に変化はなく本人の様子を見守りながら材料を多量に使っている時には声掛けをしていたが、徐々に本人よりその作業に取り組みたいとの希望が聴かれなくなってしまった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人への声掛けに対し配慮が足りなかった。 <p>事業所判断ポイントカテゴリ ⑨ ⑩</p>
<p align="center">【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】 【就労系】</p>
<p>番号 B55 委員会判断ポイントカテゴリ -⑥</p>
<p>知的障害 男性 30代</p> <p>○施設に若い利用者が増えることにより、環境に馴染めず次第に話し声も「うるさい」と感じるようになってしまった。イライラすることが増え暴言、物に当たることが増えた。本人から「利用者がうるさい」「誰々が嫌だ」「違う部屋がいい」など訴えが出てきた。職員間での会議で「個室対応」など環境の変化も視野にいれ対応することになった。まず、パーティションで視覚的に見えないようにした。始めは仕切られた中で静かに作業出来ていたが、「声がうるさい」と言うことが増え別室での対応となった。別室に入ることにより利用者との関係はよくなり、一人で作業を黙々と取り組んでいたが、次第に作業することなく携帯電話をいじったり、製品を投げるなど作業への意欲がなくなった。職員の話しも聞き入れず、作業室へ戻る気もないと言っている。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>本人の意思を尊重して個室対応にしてみたが、要求が多くなってしまい対応できなくなった。</u> ・個室でのルール決めが少なかったため、自由な時間になってしまった。 ・<u>期間を決めてやるべきだった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリ -⑥</p>

<p>【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】</p>	<p>【就労系】</p>
<p>番号 B56 委員会判断ポイントカテゴリー -①、-②、-④、-⑦、⑨</p>	
<p>精神障害 男性 20代</p> <p>○就労を目指して日々作業に取り組んでいたが、支援者より「成長が感じられない」「就労はいつか？」と訴えがあった。本人は意思表出することは極端に少なく、質問にも「あっはい」でしか答えない。就労への取組で企業見学や実習への参加はどうか聞くが、返事もないため進めていなかった。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>本人の意思をいろいろな形で聴くべきだった。</u> ・ 他機関とも連携して就労への取り組みに参加してもらえばよかった。 ・ <u>本人とコミュニケーションする方法を検討できなかった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー -①、-④、-⑦、⑨</p>	
<p>【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】</p>	<p>【就労系】</p>
<p>番号 B57 委員会判断ポイントカテゴリー -②、-④、-⑦、⑨</p>	
<p>Aさん（知的障害、てんかん）</p> <p>Aさんから「終わりました」との報告を受ける「はい、わかりました」と返答をし、確認をすると2つの作業が作業スペースにある状態だった。混在してしまうのを避ける為、1つの作業をまとめ作業スペースの端の方に寄せ「ここに置いておきますね」と伝え、説明を行わず他利用者から呼ばれた為、その場から離れてしまった。「Aさんが、泣いている」と職員が見つけ、なぜ泣いているのか聞くと「作業の続きをしたかったので、まとめられたことが嫌だった」と話していた。</p> <p>【配慮が困難だったポイント及び考察 等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どちらの作業が「終わった」のかの確認をしていなかった。 ・ <u>出ている作業をまとめてよいのかの確認をしていなかった。</u> <p>事業所判断ポイントカテゴリー -②、-④、⑨</p>	

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B58 **委員会判断ポイントカテゴリー -③、⑨**

Cさん（女性、知的障害）

施設の目の前にある自販機で好きな飲み物（カフェオレ）を購入したいという気持ちが強く、活動中に何度も外に飛び出して自販機の前に行ったり、目についたコップを取り出したりすることが頻繁に見られていた。その都度行動を制止したり、自販機の前まで行ってお金がなくて買えないことを伝えたりしていた。その後もご本人の要求は強く、カフェオレを飲めないことでイライラして声を出したり、壁を叩いたり、何度もトイレに行き来して落ち着かなかったりしていた。保護者と相談したところ、健康のためにという保護者の意向により自宅で飲んでいるお茶を水筒に入れて持参して頂いたが、施設ではCさんはほぼ飲まなかった。

その後も落ち着かない様子が続いたため、帰りに自販機でCさんが好きな飲み物を保護者と一緒に購入することを提案し、Cさんも少しずつ落ち着いて過ごせるようになってきている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・活動中に自販機でジュースを購入するのはどうか？という職員側の思いがあった。カリキュラムの枠や他の利用者と同じくといった集団にCさんの行動を合わせようとしてしまい、Cさんの要望に対する個別支援ができなかった。
- ・本人の要望よりも保護者の意向を優先してしまい、Cさんがより不安定になってしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑥、⑨、-③

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B59 **委員会判断ポイントカテゴリ ⑨、-⑦、-④**

D さん（男性、知的障害）

希望を取ったり選択したりする場面でいつも悩んでしまい、自分の気持ちや思いを伝えるまでに時間を要する D さん。話し合いの場でレクリエーション活動の内容を決める際に、他の仲間は次々に希望が上がる中、iPad で調べたり考えたりしているうちに時間が終了してしまい、最終的には他の利用者の希望に賛同する事が多い。

他の利用者からの希望に D さんは「いいよ」と快く賛同して下さることが多いが、本当は他に興味のある事や D さん自身がやりたいことがあるのではないかとと思われる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 決められた時間内で活動内容を決めようとしてしまい、本人の希望が出されるまで待つことができなかった。
- ・ C さんの行動特性を理解し、本人に事前に伝えて余裕をもって考えられるようにする等の合理的配慮がなされなかった。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑨、-⑦、-④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B60 **委員会判断ポイントカテゴリ -③、-⑧**

自閉症の女性利用者 A さん

昼食後より本人スペースに横になり過ごしている A さん。午後の活動時間になり、散歩や創作活動にお誘いしたが「やらない」「行かない」と話している。活動時間が終了する頃になって散歩や創作活動を行いたいと話している。帰宅までに時間がなく、希望に沿うことができなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 本人がやる気になった時に、時間がなく、提供することができなかった。
- ・ 午前の段階で午後の活動を提示することができれば、早めに気持ちを切り替えて活動に参加することができたかもしれない。

事業所判断ポイントカテゴリ -③、-⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B61 **委員会判断ポイントカテゴリー -②、⑨**

補装具を使用している女性利用者 S さん

いつも午後に入浴されている女性利用者 S さん。活動を提示するボードは午前の入浴予定になっており、本人もそのつもりだった。時間が足りなかったため、午後の入浴を提案すると、その時、作業をしていたものをカゴごと投げ、大きな声を出したり、職員を叩いたりつばを吐き出したりと不安定な様子を見せている。そこで午前に入ることを伝えると落ち着き、その後、スムーズに入浴している。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・いつもは予定と違うことを納得してくれていた利用者さんだが、その時の様子や気持ちを汲み取れず、活動時間やスケジュールを優先してしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -②、⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B62 **委員会判断ポイントカテゴリー -⑥、⑨**

長年生活介護を利用されている C さん。以前の C さんの日中活動の様子は、新聞紙をちぎりながら歩くことが習慣となっている。紙ちぎりをしていると安らぐのか独語の声の大きさが幾分小さくなり、周囲の利用者さんも落ち着いて活動に参加することが出来ていた。ある日から、同じ室内で活動している M さんが C さんのちぎった紙が入っている箱を見つけて、ひっくり返し足で踏む行為を繰り返し行うようになる。ひっくり返す回数が日に日に多くなり、C さんが取り組んでいた紙ちぎりの活動は現在、様子見となっている。その日から C さんは、何か物足りなさを感じているのか、独語の声の大きさが以前より大きくなっている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ C さんの独語の声の大きさが大きくなったことで、D さんがうるささを感じイライラした様子を見せることがあった。C さんを守る為場所を移動しているが、常に室内を歩いている為戻って来てしまう。
- ・ 今まで通り、新聞紙を渡して紙ちぎりをして過ごしてもらうような対応が望ましかったが、Mさんの目があり、新聞紙を渡すことが出来なかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -⑥

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B63 **委員会判断ポイントカテゴリー ⑨**

日中の活動で、他利用者さんと一緒にトランプをして過ごしていた。途中で通院の為保護者の迎えが来た際、玄関へ誘導しようとしたが本人の気持ちの切り替えができず、その場から動くことが出来なかった。声掛けや他のことに気持ちを移そうとしたが泣いてしまい、気持ちが不安定になる様子が見られていた。時間をかけて本人の気持ちが落ち着くまで待つことで、無事玄関まで移動し早退することが出来た。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 気持ちを切り替えることが難しかった。
- ・ 迎えが来る時間に合わせて、切り上げることができなかった。途中で中断することになってしまい、本人も途中でトランプを中断したことにより、気持ちが不安定になってしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B64 **委員会判断ポイントカテゴリ -⑤**

日中、空腹などが原因で不穏になることがある A さん。お母様よりおやつをお預かりし、A さんが空腹で不穏になった際は、それを提供することにした。おやつをお預かりしたその日、声出し等があり、不穏な様子が見られた。支援員が「おなかがすきましたか？ はい いいえ」と書いた紙を A さんに提示し、空腹かどうかの確認を行った。数回確認を行い、A さんはその度に「はい」を指さした。支援員は続けて、「うまいぼうたべますか？ はい いいえ」と書いた紙を提示し、おやつを食べるかという意味確認を行った。A さんが「はい」を指さしたため、おやつを提供した。しかし A さんがおやつを食べた様子はなく、翌日お母様から家に持ち帰っていたとの申し送りがあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ A さんが「はい」「いいえ」を正しく理解しているか、自分の意思に沿う方を選べるかといった部分のアセスメントが不十分だった。
- ・ A さんにより適した方法やツールを用いての意思確認が行えればよかった。

事業所判断ポイントカテゴリ -⑤

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B65 **委員会判断ポイントカテゴリ -①、-④**

音楽活動と創作活動を選択する際、C さんは言葉が話せないため、活動道具を提示するが、いろいろな活動道具に触れていて、C さんの希望が分からなかった。そのため、実際に活動が始まってから活動を促すが、どちらの活動にも取り組む様子が見られ、C さんの希望が分からなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ C さんに何が伝わっているのか（何を理解しているのか）、意思疎通が困難であった。

事業所判断ポイントカテゴリ -④、-①

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B66 **委員会判断ポイントカテゴリ -③、⑨**

昼食時、Dさんが野菜を残そうとすることがあった。Dさんは好き嫌いが多いため、職員は食べないものが増えてしまうと思い、食べるように促した。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員主体の対応であった。
- ・本人の思いを尊重する必要がある、訴えに応える対応ができなかった

事業所判断ポイントカテゴリ ⑨、-③

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B67 **委員会判断ポイントカテゴリ -②、⑩**

・どれがいい？と選択肢を提示しても機嫌が悪くなってしまい、全てが嫌になってしまう利用者さんもいる。そのため、アプローチの工夫が必要だなと感じた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・どれにする？と聞いても「やらないの！！」とよけられてしまうため、情報提示すらできない。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑩

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B68 **委員会判断ポイントカテゴリ ⑩**

・社会見学に出かけた際、欲しいものがあつたがお小遣い以上の金額だったために購入することができなかった。別のものではどうかと提案し、結局、最後は別のものを選んでくれたが、本人は最初のをとても気に入っていたようだった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・お小遣いで買える範囲ということを伝えたが、そこまでの理解は難しかったと思う。そのために、納得されないまま、他のものを選んだ感じになってしまった。
- ・とても気に入ってしばらく離さなかったので、伝わらないことがとても残念だった。

事業所判断ポイントカテゴリ ⑩

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B69 **委員会判断ポイントカテゴリ -②、-③、-⑦、⑨**

普段にこやかに会話していても、突然気持ちが切り替わり、大声をあげ自傷してしまうYさん。その際に場面転換を図ろうと、本人の好きな話題を話し始めたところ更に自傷行為が強くなってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちを汲み取れず、声掛けが更なる刺激となってしまった。

事業所判断ポイントカテゴリ -②、-③、-⑦、⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B70 **委員会判断ポイントカテゴリ -②、-④、⑨**

決まった場所で活動している利用者が立ち上がり移動しようとした際、転倒を理由に行動を静止してしまった。その後、他支援者が付き添いで移動して別の活動場所で DVD を楽しそうに観ていた。どこに移動したいのか、何をしたかったのか、本人の意思を確認せずに「危険ですよ」と声掛けし意思確認しなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ どこに移動したいのか確認せず行動を静止してしまった。
- ・ 本人の意思より、転倒防止を優先してしまった。

事業所判断ポイントカテゴリ -④、⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B71 **委員会判断ポイントカテゴリ -②、-⑦**

A さんに対し、カラオケに参加するかどうかを確認すると、横になっており眠たそうに「やらない」と答えていました。しばらくして、活動終了間際に A さんが活動場所に来て「やる」と伝えてきましたが、時間がなく参加する事ができませんでした。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 待つ事が出来なかった。
- ・ A さんの眠気がある状態での返答の 1 回で本人の意思としてしまった。

事業所判断ポイントカテゴリ -⑦

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B72 **委員会判断ポイントカテゴリー -①、-②、-③、④**

HさんとEさんは本来違う活動室の方。Eさんは賑やかさが苦手であり熱籠りのある方（熱籠りにて不安定になることがある）。その日はHさんとEさんが同室で過ごしていた。Hさんが大きな声で周囲の方のお世話や指示出しをしていたことで、Eさんが耳を塞ぐ様子がみられていた。その後、突然Eさんが大きな声を出し、何度も飛び跳ねる等不安定な様子がみられていた為、Hさんに活動室を移動してほしいことを伝えている。しかし納得がいかなかったようで、首を横に振りその場から動かなかった。職員を替え話をするが変わりなし。しばらくするとEさんの方が活動室を移動している。これで両者落ち着いたかと思ったが、突然Eさんが大声を出しながら活動室から出て行ってしまった。Eさんが移動した活動室は静かな環境であった。Eさんは登園時より鼻水症状があると保護者より申し送りがあり、熱籠りも見られていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・登園時より鼻水症状、熱籠りがあったことを知っていたにも関わらず Hさんに原因があると決めつけ両者を離そうとしてしまった。Eさんの不調による興奮を見分けることが出来ず、Hさんに嫌な思いをさせてしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -①、-②、-③、④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】【日中活動系】

番号 B73 **委員会判断ポイントカテゴリー -①、-②、-③、⑨**

Sさんは、Tさんが絵を描いている様子を見ていることが好きである。SさんがTさんの絵を描いている様子を眺めていることが増えたことにより、TさんからSさんに対して声を掛ける等、比較的良好な関係が気付いていた。しかし、最近では、隣に座る際、近づきすぎる傾向にあった。この日も、SさんがTさんの側で眺めていた為、Tさんに了承を得て、隣に座り過ごしていた。しかし、しばらくすると突然Tさんが立ちあがり、活動室内を飛び跳ねる様子が見られた為、Sさんには離れていただいている。

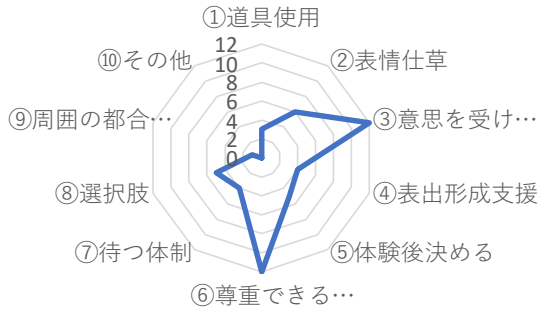
【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・Tさんは自分のペースで組みたかったのに、近づいて座られていたことでペースが乱れ、嫌だったのかもしれない。

事業所判断ポイントカテゴリー -①、-②、-③、⑨、⑩

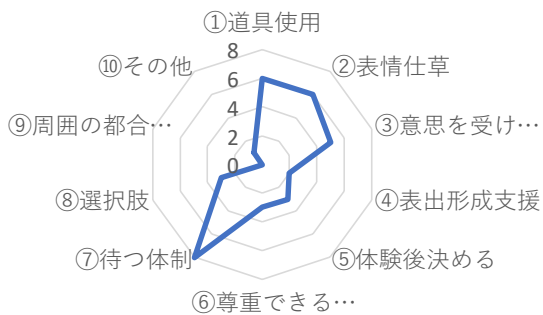
令和4年度 カテゴリー分類図（成功事例4系統）

日中活動系



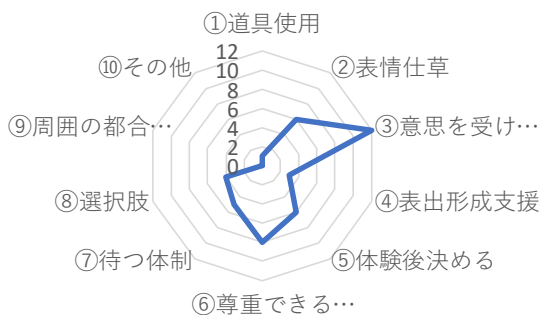
- ・③「意思を受けて実現」が12件
 - ・⑥「尊重できる環境」が12件と、多かった。
 - ・②「表情しぐさ」6件
 - ・⑩その他は0件
- 令和3年度は、⑧「選択肢」が一番多かった。

児童系



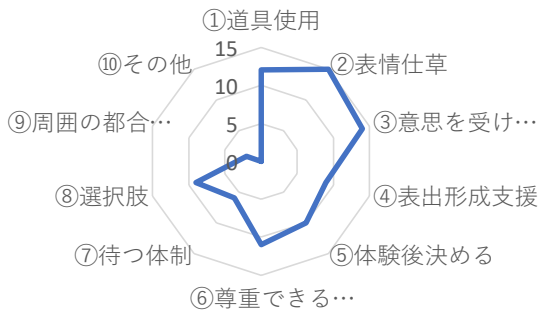
- ・「待つ体制」が8件で1番多かった
 - ・②「道具使用」④「表情仕草」が6件。
 - ・③「意思を受けて実現」
 - ・その他は1件となっている。
- 令和3年度は、②表情しぐさ④表出形成支援が多かった。

就労系

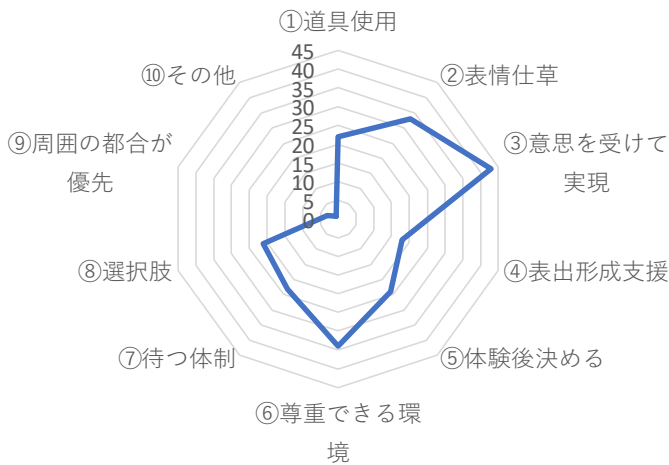


- ・⑤「意思を受けて実現」12件で、一番多かった。
- ・⑨「尊重できる環境」が8件。
- ・「表情仕草」「体験後決める」6件
- ・「待つ体制」が5件。
- ・令和3年度は、⑤「体験後決める」
- ⑥「尊重できる環境」が多かった

居住系



・「表情仕草」15件と一番多かった。
 ・「意思を受けて実現」14件
 ・「道具使用」12件
 ・「尊重できる環境」11件「体験後決める」となった。
 ・令和3年度は、「意思を受けて実現」多かった

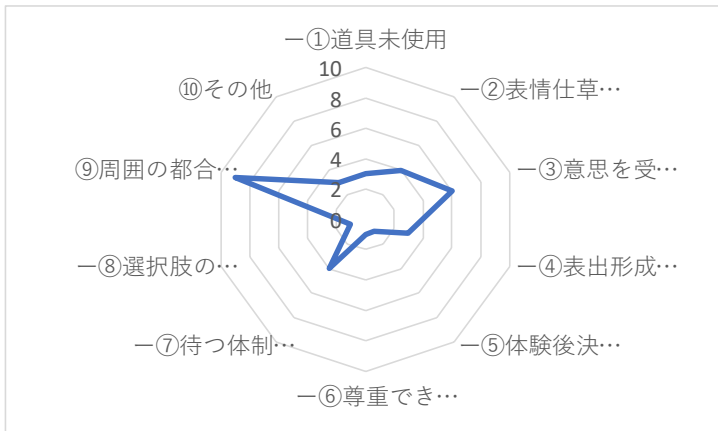


カテゴリー	日中活動系	児童系	就労系	居住系	合計
①	3	6	1	12	22
②	6	6	6	15	33
③	12	5	12	14	43
④	4	2	3	9	18
⑤	5	3	6	10	24
⑥	12	3	8	11	34
⑦	4	8	5	6	23
⑧	5	3	4	9	21
⑨	1	0	1	2	4
⑩	0	1	0	0	1

・「意思を受けて実現」が1番、「尊重できる環境」が2番、令和3年度も同様であった。
 ・「表情仕草」は3番、令和3年度は、4番であった。
 「体験後決める」「待つ体制」と続いた。 【考
 察】 ・利用者さんの表情・状況・環境を把握するよう待つ体制を築いている。尊重できる体制整えている。

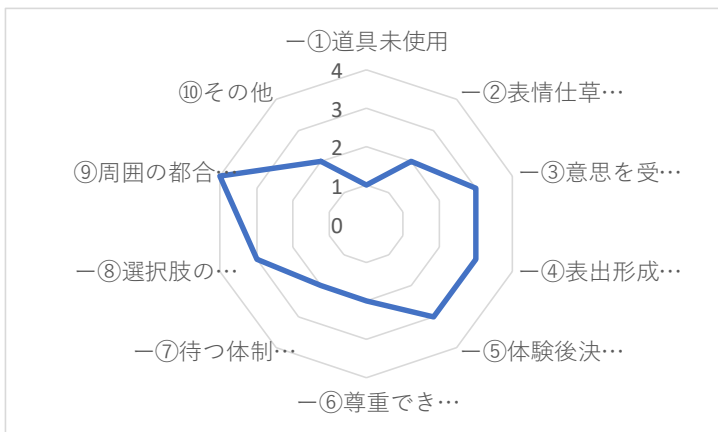
令和4年度 カテゴリー分類図（失敗事例4系統）

日中活動系



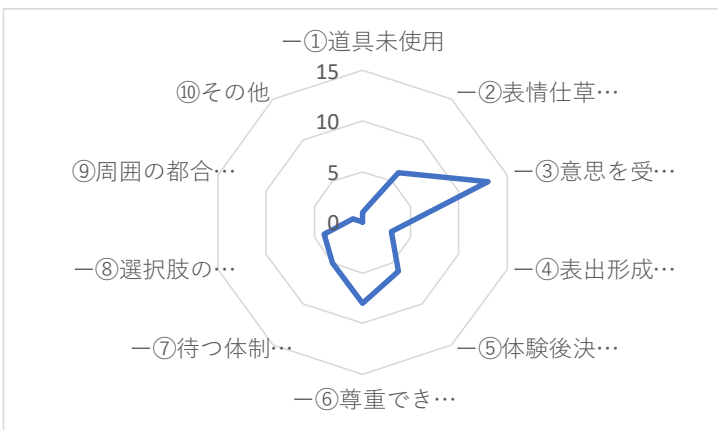
- ・-⑨「周囲の都合が、優先」が一番多く、令和3年度も同様であった。
- ③「意思を受けて実現していない」が2番目であった。令和3年度は、体験後決めていないが多かった。

児童系



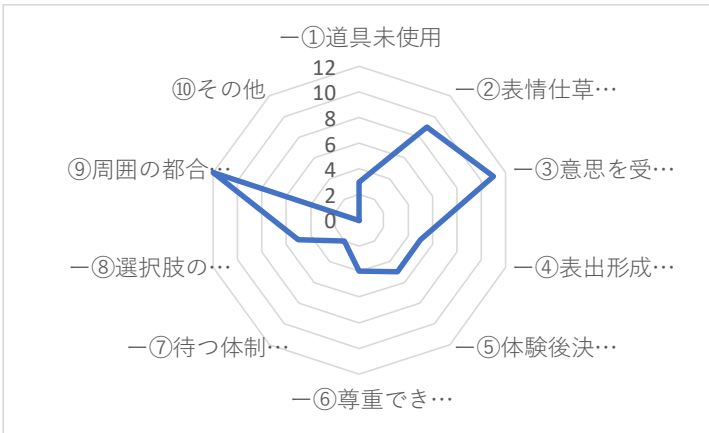
- ③
- ・-⑨「周囲の都合が、優先」が一番多く、令和3年度も同様であった。
 - ③「意思を受けて実現していない」が2番目であった。令和3年度も、同様であった。

就労系

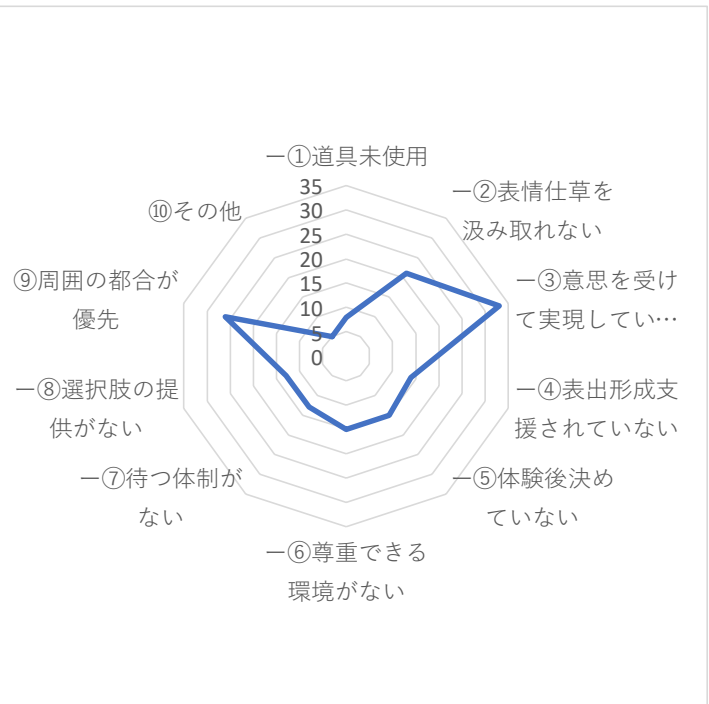


- ・-⑬「意思を受けて実現していない」
- ⑥「尊重できる環境がない」が多かった。
- 令和3年度は、体験後決めてないが多かった。

居住系



- ・ ⑨「周囲の都合が優先」
- ・ ③「意思を受けて実現していない」
- ・ ②「表情を汲み取れない」
- ・ 令和3年度も、同様であった。



系統別カテゴリ数					
カ テ ゴ リ	日 中 活 動 系	児 童 系	就 労 系	居 住 系	合 計
①	10	2	1	7	20
②	9	2	3	6	20
③	9	4	3	10	26
④	7	2	1	7	17
⑤	9	0	4	6	19
⑥	2	1	4	3	10
⑦	6	4	4	2	16
⑧	10	1	2	7	20
⑨	17	6	3	13	39
⑩	8	1	4	9	22

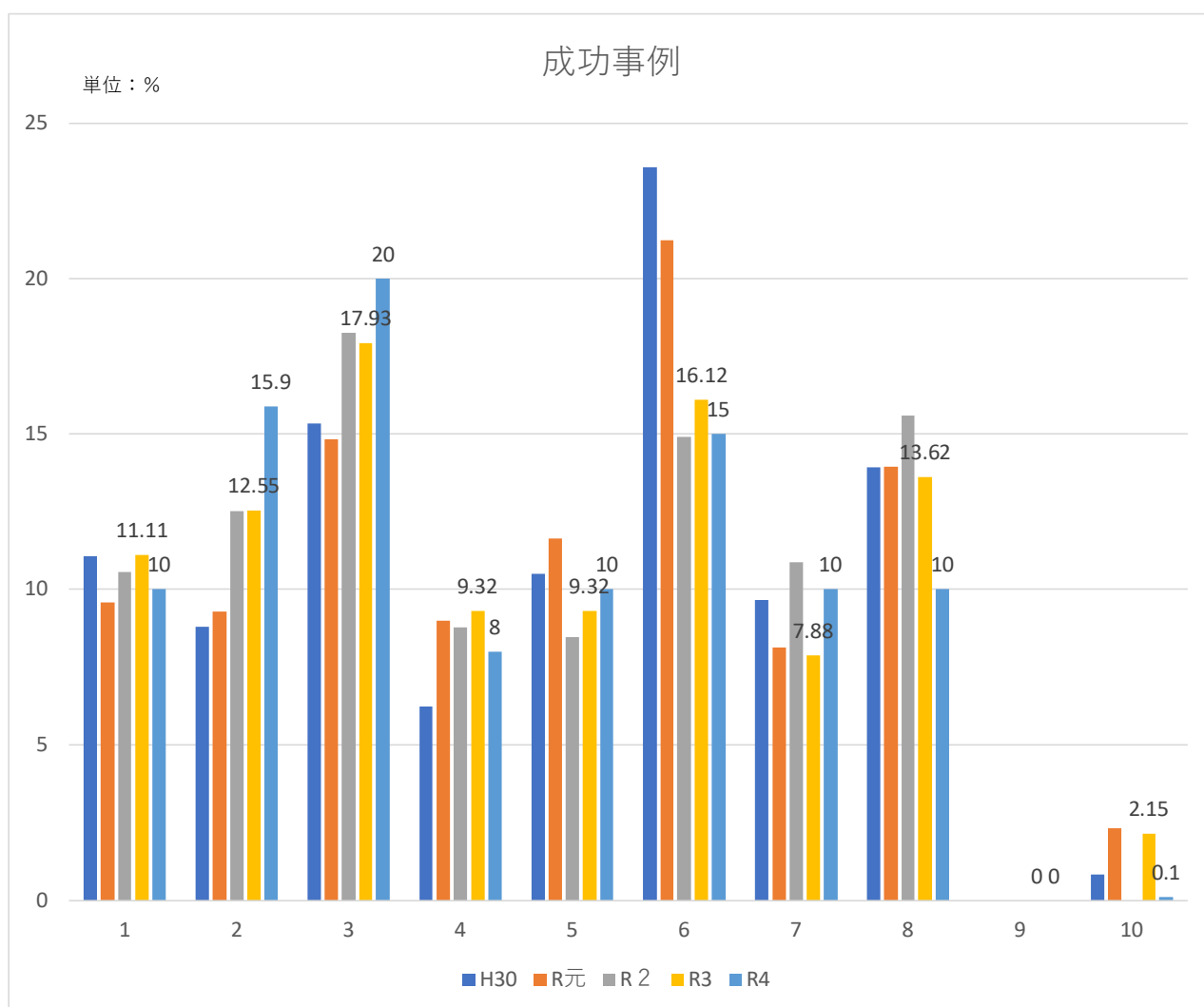
【全体の傾向】

- ・ ⑨「周囲の都合が優先」が成功事例では全体値で4件対して、失敗事例では全体的に高い数値となっている。
 - ・ ③「意思を受けて実現していない」
 - ・ ②「表情を汲み取れない」が多かった。
- 【考察】「意思決定支援」を遂行しようとするため、意思を汲み取り、尊重しようとする取り組みが、多かった。

5年間のカテゴリー分類比較図

成功事例

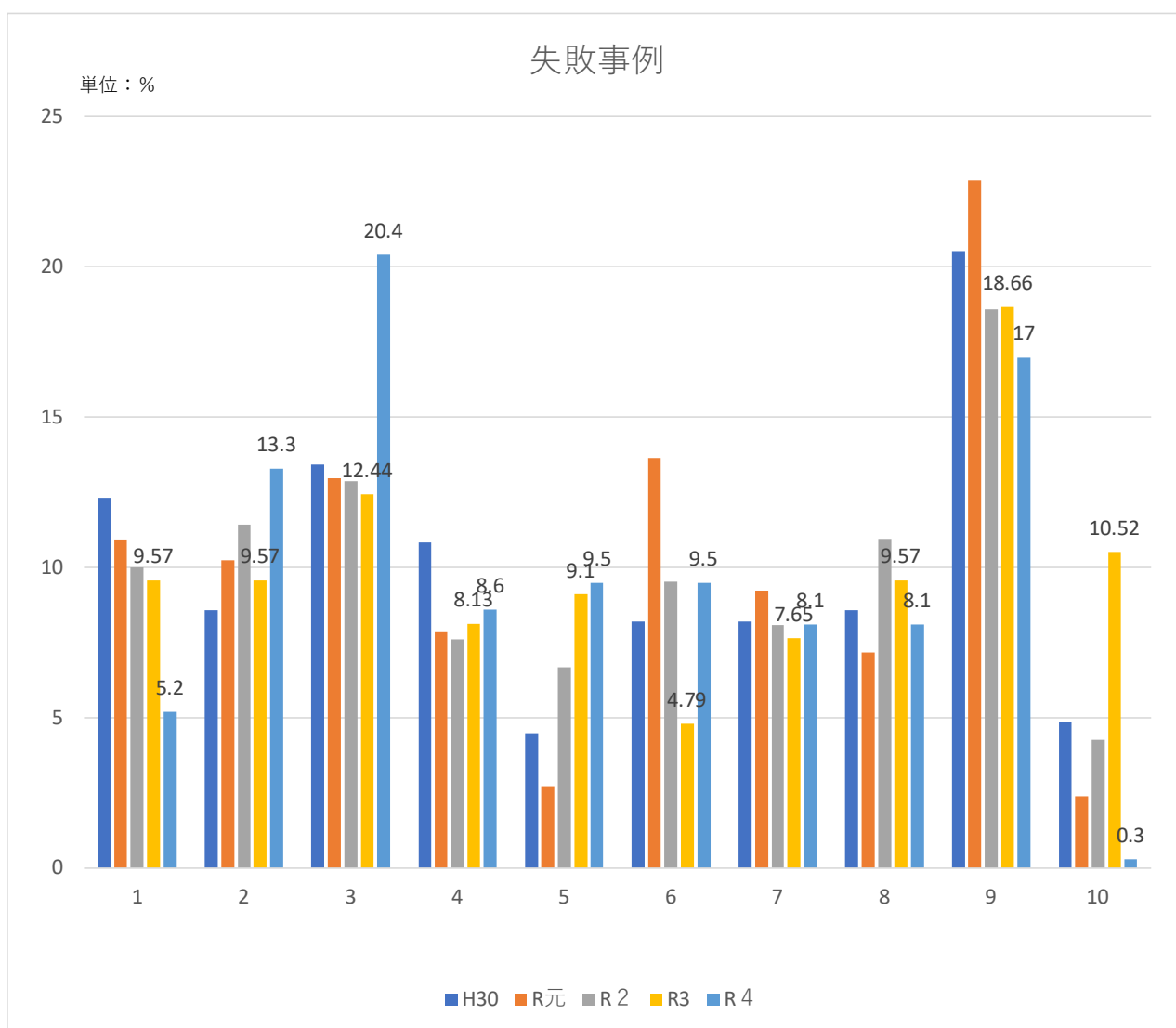
カテゴリー	H30	R元	R2	R3	R4	5カ年合計	上位
①道具使用	11.08	9.59	10.57	11.11	10	52.35	
②表情仕草	8.81	9.3	12.53	12.55	15.9	59.09	
③意思を受けて実現	15.34	14.83	18.27	17.93	20	86.37	②
④表出形成支援	6.25	9.01	8.78	9.32	8	41.36	
⑤体験後決める	10.51	11.63	8.48	9.32	10	49.94	
⑥尊重できる環境	23.58	21.22	14.91	16.12	15	90.83	①
⑦待つ体制	9.66	8.14	10.88	7.88	10	46.56	
⑧選択肢	13.92	13.95	15.58	13.62	10	67.07	③
⑨周囲の都合が優先	0	0	0	0	0	0	
⑩その他	0.85	2.33	0	2.15	0.1	5.43	



5年間のカテゴリー分類比較図

失敗例

カテゴリー	H30	R元	R2	R3	R4	5カ年合計	上位
①道具未使用	12.31	10.92	10	9.57	5.2	48	③
②表情仕草を汲み取れない	8.58	10.24	11.43	9.57	13.3	53.12	
③意思を受けて実現していない	13.43	12.97	12.86	12.44	20.4	72.1	②
④表出形成支援されていない	10.82	7.85	7.62	8.13	8.6	43.02	
⑤体験後決めていない	4.48	2.73	6.67	9.1	9.5	32.48	
⑥尊重できる環境がない	8.21	13.65	9.53	4.79	9.5	45.68	
⑦待つ体制がない	8.21	9.22	8.09	7.65	8.1	41.27	
⑧選択肢の提供がない	8.58	7.17	10.95	9.57	8.1	44.37	
⑨周囲の都合が優先	20.52	22.87	18.57	18.66	17	97.62	①
⑩その他	4.85	2.39	4.28	10.52	0.3	22.34	



人件倫理委員による編集後記

今年度途中から人権倫理委員に参加させていただきました。

常日頃から、意思を汲み取るよう心がけているつもりで支援を行なっているわけですが、全てが、良い方向に向かうわけではないため、心が折れそうになる場面も多々あります。しかし、この事例集を見ると、福祉に携わる皆さんも、成功したケースや上手くいかなかったケースなど同じように苦慮していることや、嬉しかったことなどが見受けられることで、悩んでいるのは、自分達だけでは無いことに気付かされました。そしてこの事例集が、更なる支援のヒントとしてでも活用されたら嬉しく思います。

(すてっぴ 管理者 有我昌広)

これまでの事例集 1,340 件に、新たに 154 件がプラスとなり、計 1,494 件のデータベースの完成、携わってくださった皆様に心から感謝申し上げます。

どの事例も、「あ！うちの施設でもありましたよね。こんなこと」と職員が共感できるものばかりで、成功事例も失敗事例もカテゴリー表示があるので、さらに詳細にどの部分に課題があったのか、どこがポイントだったのかがわかる仕組みになっております。記載されている事例一件一件が実際に支援の現場での出来事であり、支援を行う職員にとって、まさにバイブルのような存在だと思えます。

意思決定支援の重要性は、支援の現場では誰もが認識していることではありますが、十人十色、三者三様で明確な答えはありません。答えがないからこそ、これからも皆様と色々チャレンジして、利用者の皆様には快適な生活を、支援する職員には働く喜びを実感できる職場となるよう、皆様と一緒に取り組んで行けることを願っております

(郡山市花かつみ豊心園 伊藤 綾子)

お忙しい中での事例提供を頂きまして誠にありがとうございます。それぞれの事業所でより良い支援を目指して日々努力している姿に感服致します。

さて、「自分のことは自分で決めたい」と願うのは誰もが同じで、社会、職場、家庭、友人などの関係性にあっては「本当はこうしたいのに・・・言いたくても言えない」

「あの時ありがとうと伝えておけばよかった」などと思うことは少なくありません。意思決定支援する上では、そのような言葉にできない悩みや希望に寄り添い、

感じるができるかが重要です。実現可能かどうかにかかわらず、相手に思いが伝わるだけで気が晴れることもあるかもしれません。

皆様から頂いた事例には、より良いサービスを目指した功績と、その手掛かりが多分に記載されています。

私自身もとても参考になり、改めてこれからも継続して意思決定支援ができるよう努めたいと思います。

(つくしの里 管理者 加藤圭子)

業務多忙な中、「意思決定支援事例集」の作成に際し、多くの事例をご提供いただき、ありがとうございました。皆様のおかげで、今後の意思決定支援を導いてくれたり励ましてくれたりするヒントがいっぱいつまった事例集ができたとうれしく思っています。

今回、様々な事例を通して意思決定支援に努められている多くの支援者の姿が見ることができ、とても心強く感じました。また、成功、失敗に関わらず様々な事例を皆で共有する大切さも実感することができ、微力ながら作成に携わらせていただいたことに感謝しております。意思決定支援を進めていくにあたって、この事例集が皆様の参考になればと願っております。

(共同生活援助事業所サポートセンターゆうあい 管理者 作田律子)

今回、初めて意思決定支援事例集の編集に携わらせて頂きました。たくさんの施設から寄せられたたくさんの成功例・失敗例を読ませて頂きました。利用者のちょっとした表情や行動でしか、汲み取ることが出来ない事例や集団生活(行動)の場で如何に個人個人のニーズに伝えていくか等、様々な支援方法が書かれており、職員の方々の日々の試行錯誤の様子が手に取るように分かりました。支援で行き詰った際や様々な会議の際等に活用して頂ければ幸いです。

(ふじみの園 副主任兼生活支援員 大平恵一)

令和4年3月31日
福島県知的障害施設協会
人権・倫理委員会

小林 優子	すばる	管理者	(県北地区)
有我 昌広	すてっぷ	管理者	(県南地区)
伊藤 綾子	郡山花かつみ豊心園	管理者	(県中地区)
加藤 圭子	つくしの里	管理者	(県北地区)
作田 律子	サポートセンターゆうあい	管理者	(いわき地区)
大平 恵一	ふじみの園	副主任兼生活支援員	(いわき地区)

発行所： 福島県知的障害者施設協会 人権・倫理委員会 事務局
〒 969-1155 福島県本宮市本宮字舞台 53-2 (福 銀河 すばる)
TEL 0243-33-1447 FAX 0243-33-1448